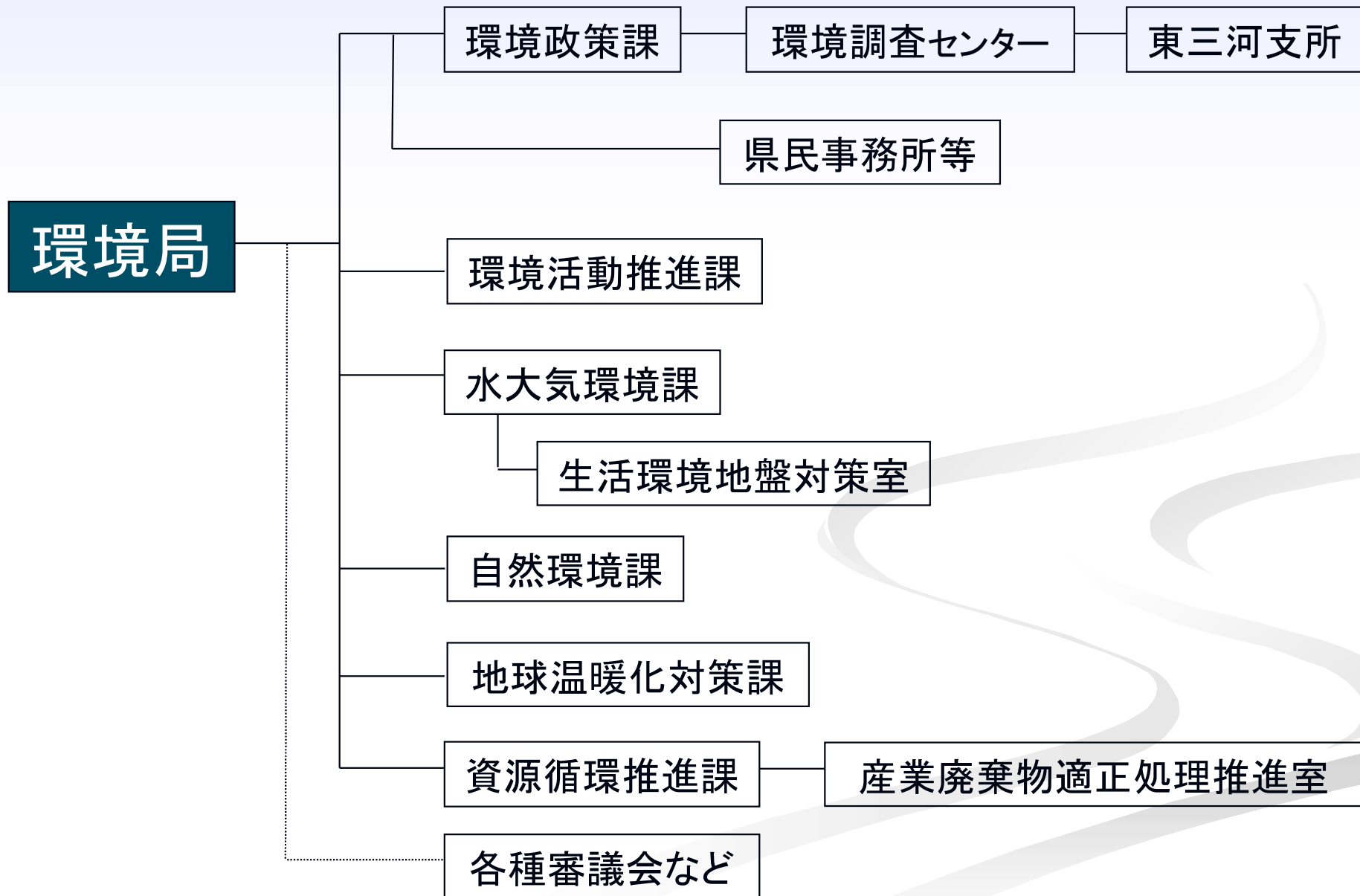


# 愛知県の環境施策

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会  
が統合的に向上する「環境首都あいち」  
を目指して

愛知県 環境局 環境政策部 環境政策課

# 環境局の組織 (2024年度)



# 1 愛知の50年の環境のあゆみ

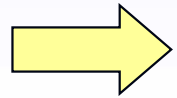
## 2 第5次愛知県環境基本計画

## 3 環境局の主な取組

# 環境問題の変遷

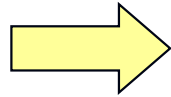
## 衛生問題

ごみやし尿の不衛生な処理→ハエや蚊の大量発生、伝染病



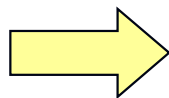
## 産業公害

急速な工業化に伴う過度の環境負荷  
→大気汚染、水質汚濁等



## 都市生活型公害

都市化の進展、ライフスタイルの変化  
→廃棄物の増大、生活排水、近隣騒音等



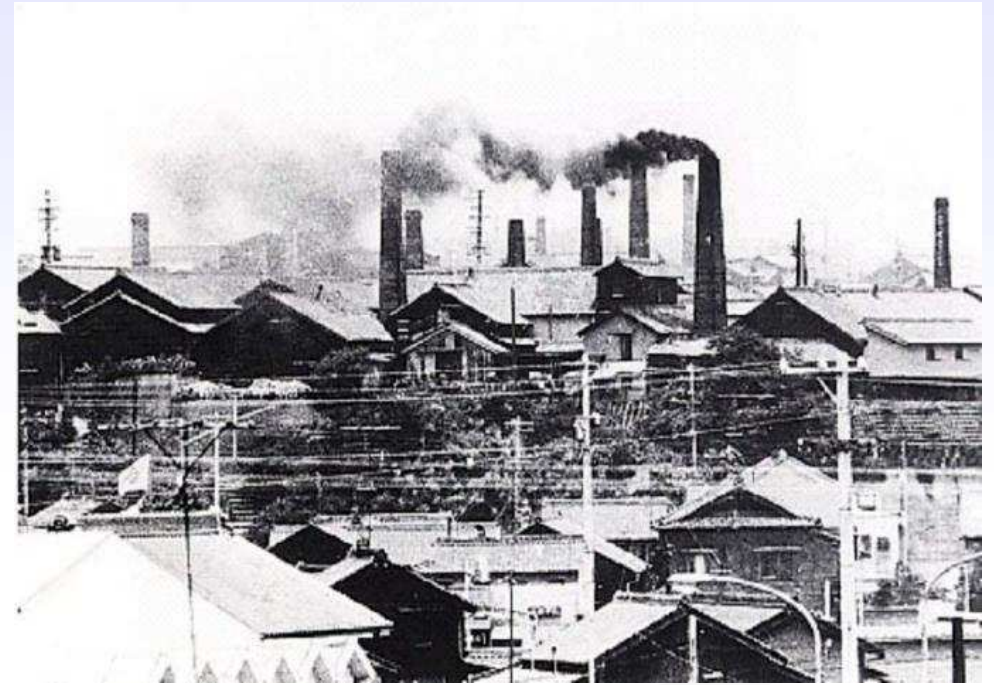
## 地球環境問題

地球温暖化、オゾン層の破壊等

# 大気汚染の状況（1970年頃）



ばい煙を排出する工場群(1969年)



常滑市の黒煙を排出する工場群（1971年）



スモッグにおおわれた名古屋市街地  
(左:1968年、右:1970年)

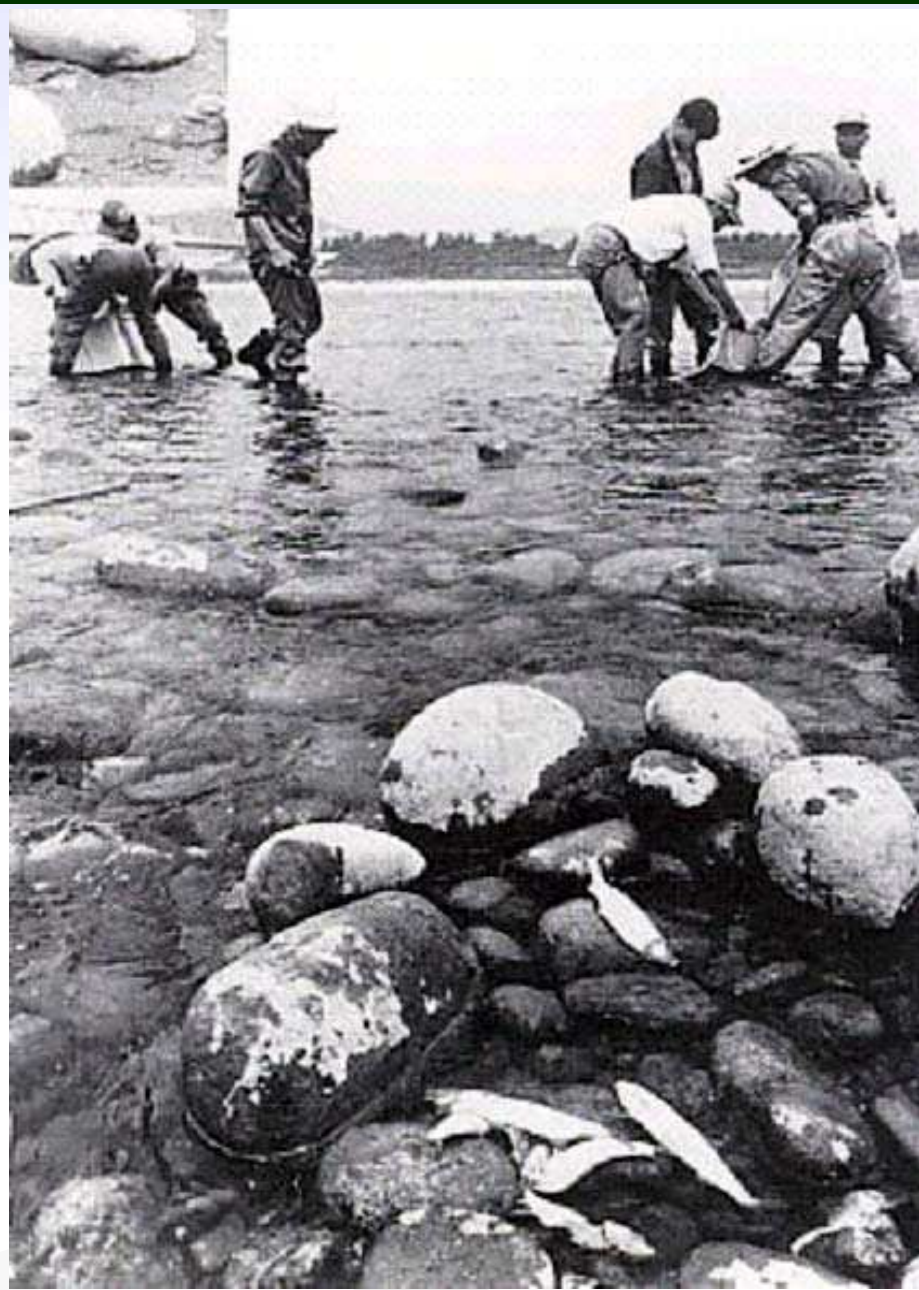


名古屋中川区(1970年)

# 水質汚濁の状況



木曽川に流入する工場排水  
(昭和43年9月)



魚のへい死  
(昭和44年6月)

# 水質汚濁の状況（近年でも毎年発生）



## 赤潮の発生

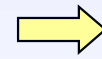
プランクトンが異常に増殖し、海水の色が赤色や褐色に変色する現象。

苦潮(青潮)の発生  
海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。



# 環境問題の解決に向けた政策 ①

衛生問題



産業公害



都市生活型公害



地球環境問題

- 産業公害 …「公害」  
政策 ① 規制的手法  
② 被害者救済

国：許可・事前届出、立入検査制度

県：法の執行

条例による上乘せ・横出し規制

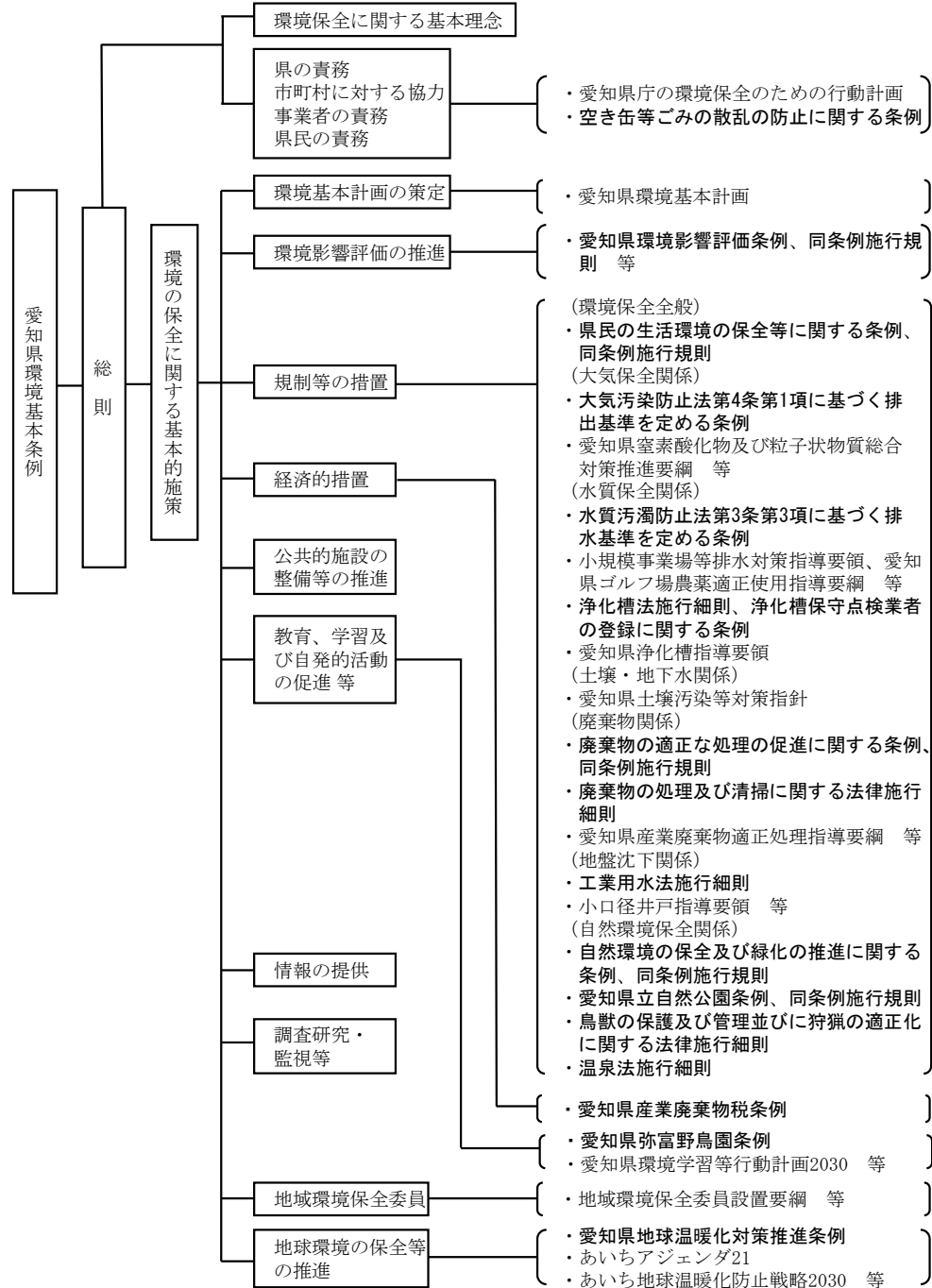


# 環境法の体系



2024年10月末現在

# 愛知県における環境保全関係 条例等の体系



# 公害健康被害者への補償

## ■ 公害健康被害補償法

認定された健康被害者の方へ療養の給付等を行う制度

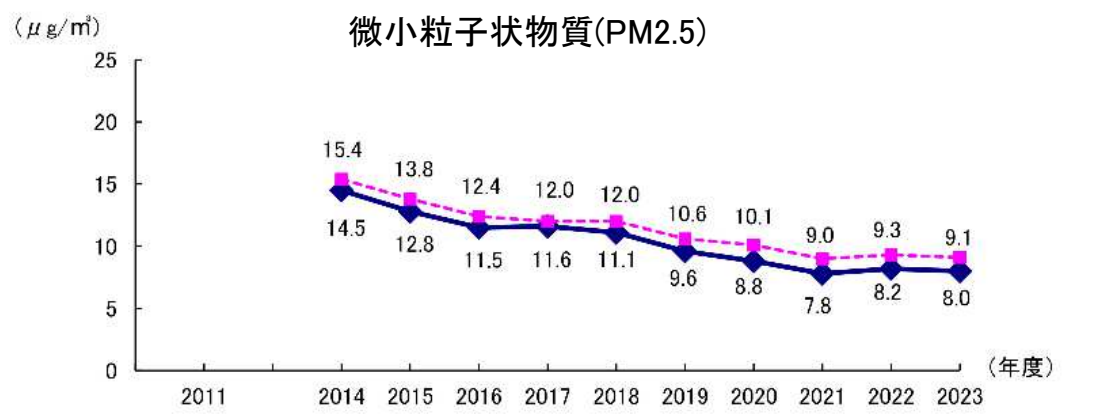
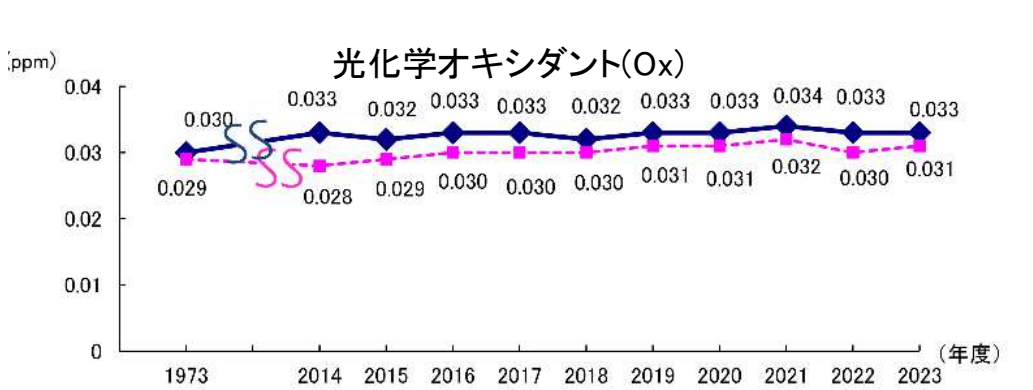
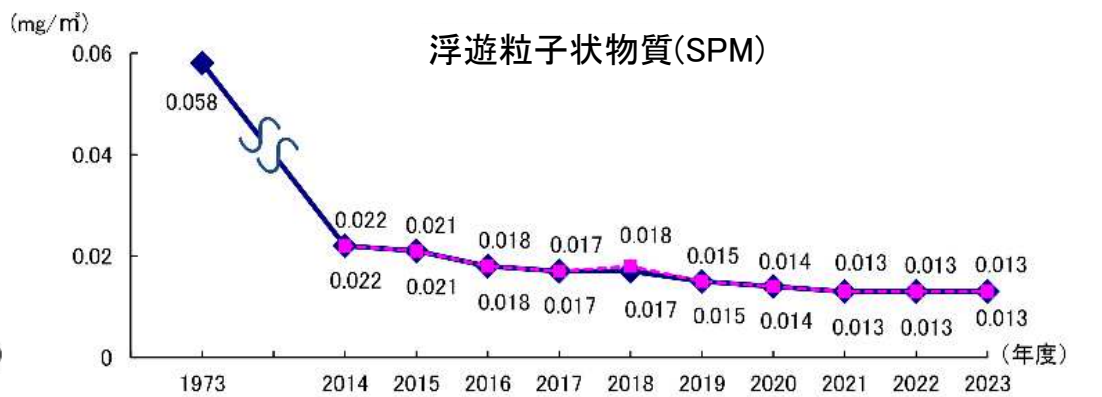
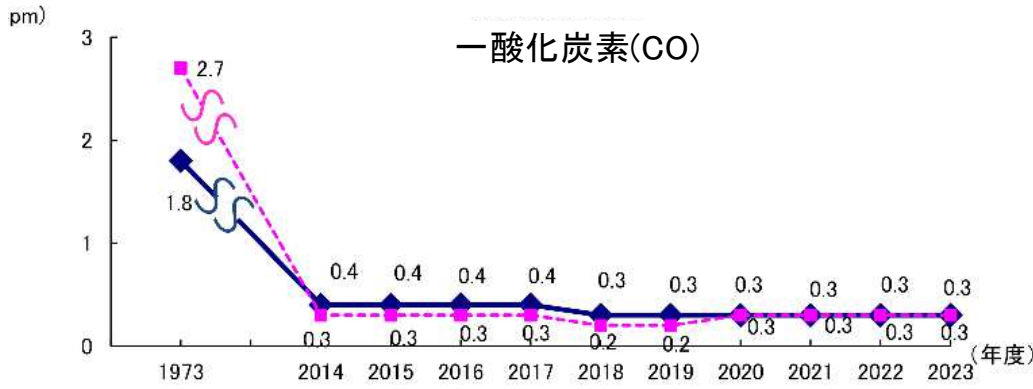
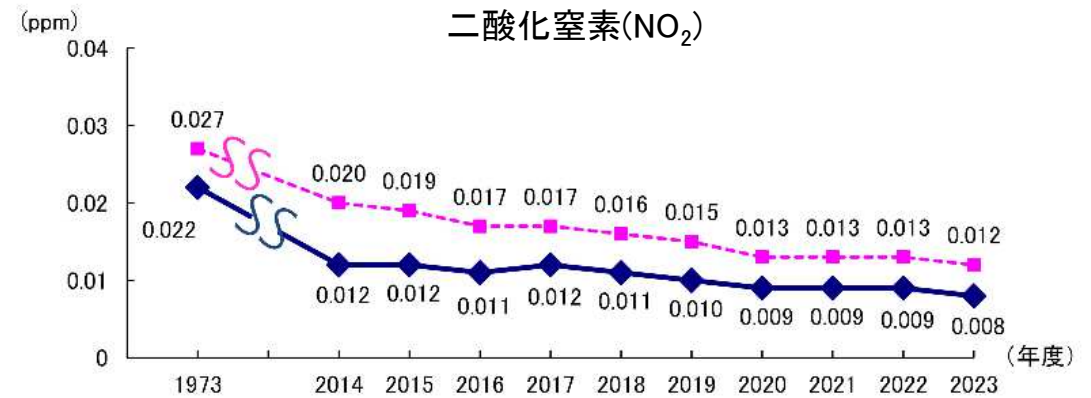
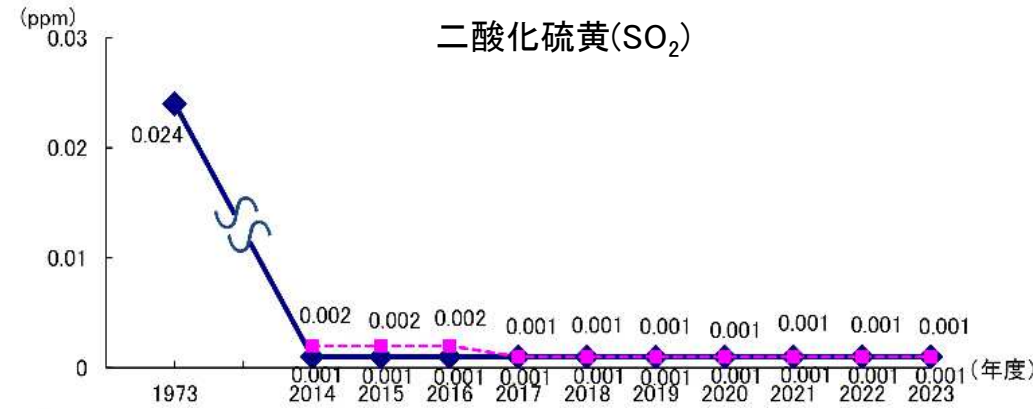
- ・ 第二種地域：水俣病、イタイイタイ病など疾病と原因物質との関係が明らかで、原因者が特定できるもの（全国で5地域）
- ・ 第一種地域※：著しい大気汚染による疾病が多発した地域（全国で41地域）

愛知県内では、名古屋市、東海市が第一種地域として指定されていた。

※大気環境の改善により第一種地域はすべて1988年に指定解除（以降は、新たな患者認定を行っていない）。

# 愛知県の大気汚染の状況（年平均値）

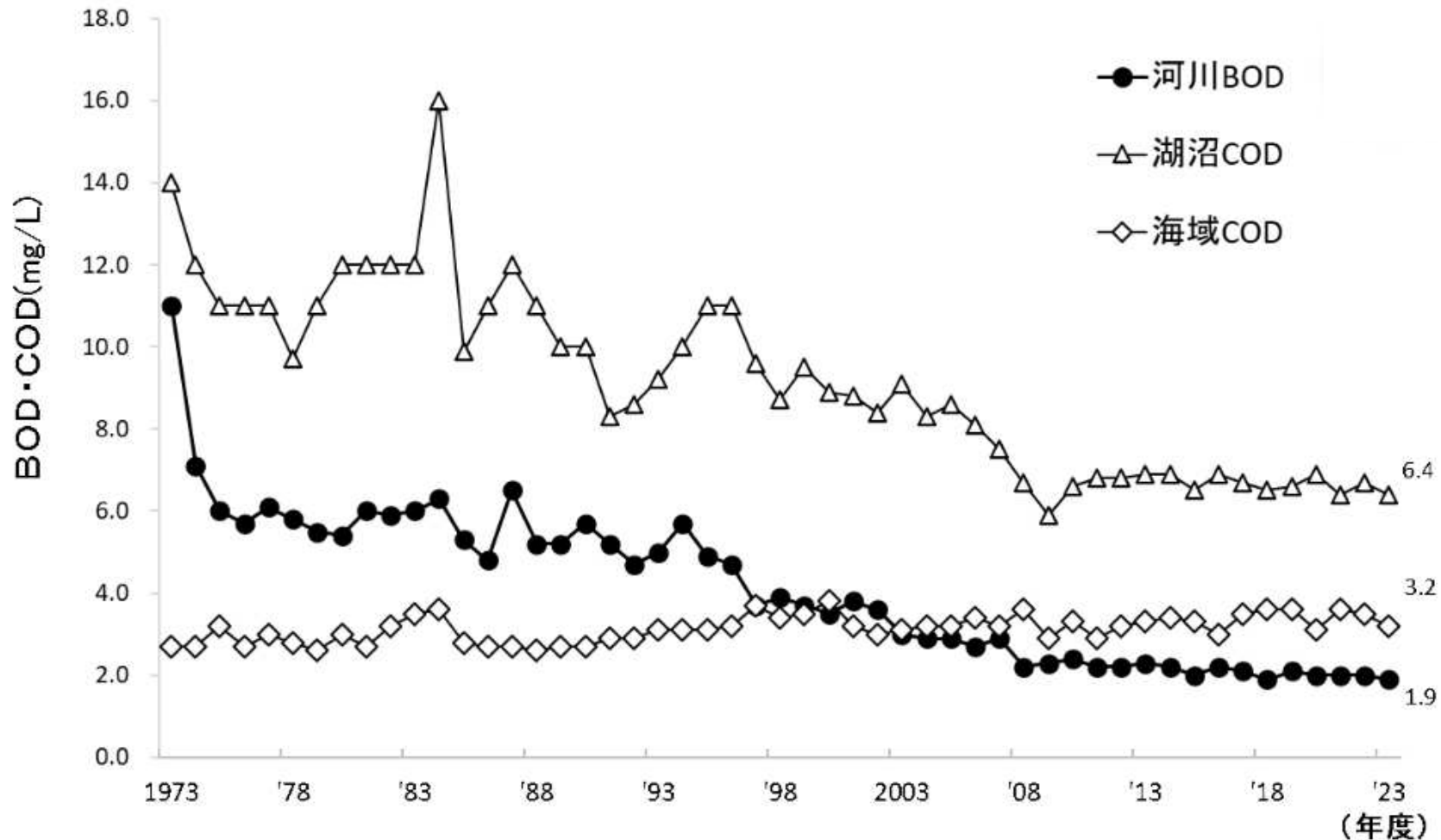
## 大気汚染物質濃度の経年変化（県全域の年平均値）



◆ 一般環境大気測定局      ■ 自動車排ガス測定局

# 愛知県の水質の状況（年平均値）

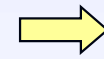
河川、湖沼、海域におけるBOD又はCODの推移（年間平均値）



- ・河川のBODは改善傾向
- ・湖沼のCODは改善傾向であるが、数値的にはまだ高いレベル
- ・海域のCODは、概ね横ばい

BOD、CODはともに有機物量を表し、汚れの指標となるもの

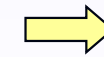
衛生問題



産業公害



都市生活型公害



地球環境問題

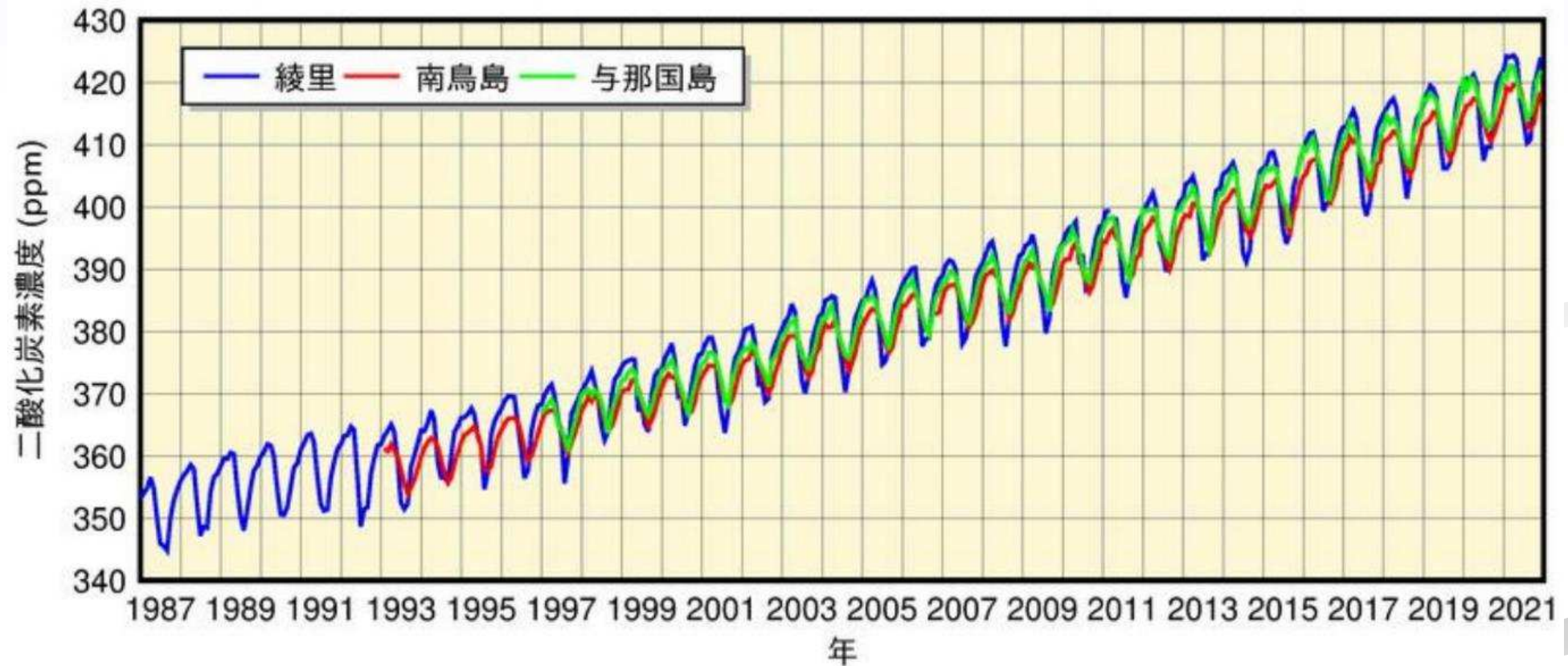
## ■ 都市生活型公害 …「分散型公害」

**特徴** 日常生活の活動も原因  
被害者が原因者になることも  
規制的手法だけでは対処が困難

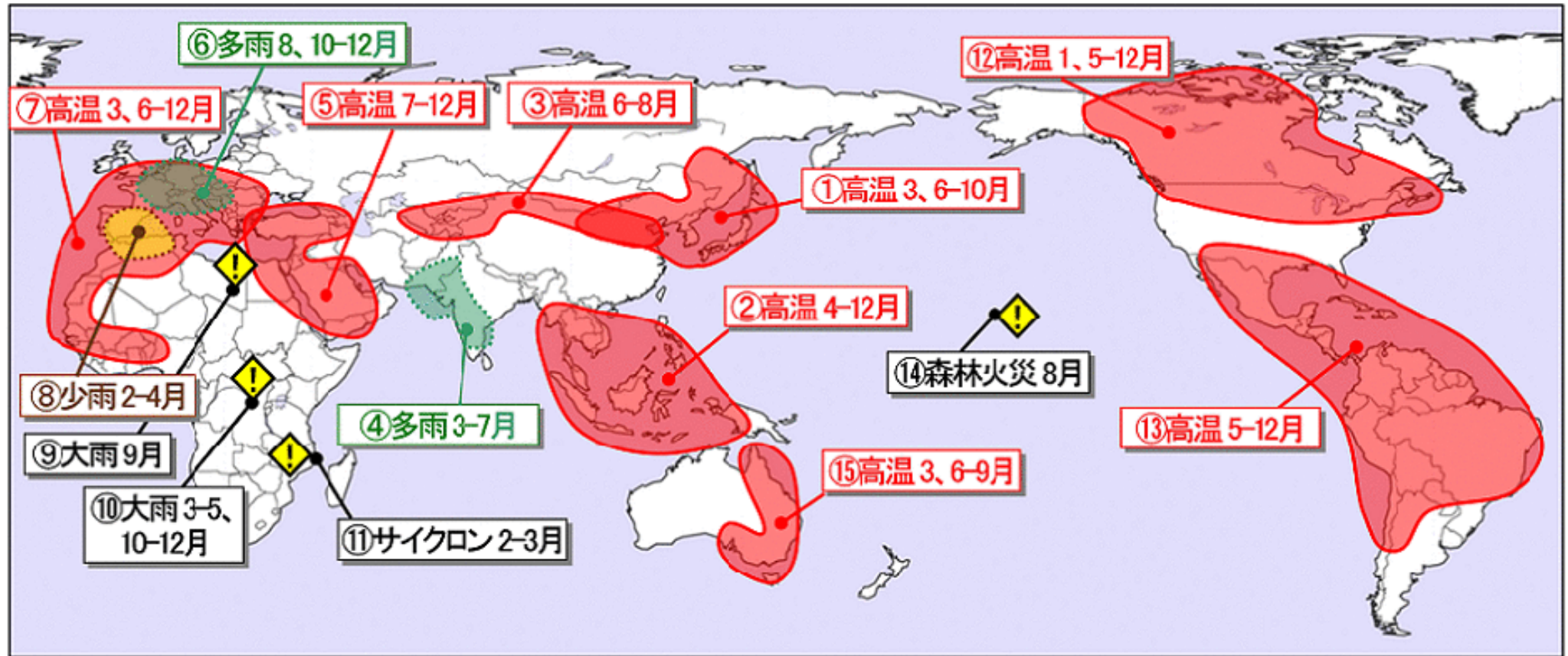
- ① 日常の環境保全意識の促進
- ② 社会経済システムやライフスタイルの見直し

# 大気中のCO<sub>2</sub>濃度（温室効果ガスの増加）

- 産業革命前の約278ppmから、2020年には413ppmまで上昇
- 過去200万年間のどの時点よりも高い



# 世界の異常気象



2023年(令和5年)世界の主な異常気象・気象災害  
発表日:2024年1月18日  
気象庁

- 2023年は観測史上最も暑い年  
→グテーレス国連事務総長は「地球温暖化から地球沸騰化の時代へ」と警告
- 日本の2023年の夏(6~8月)の3か月平均気温は、観測史上最も高かった  
(気象庁)

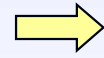


# 海岸漂着物

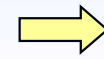


海岸に打ち上げられたごみ 2018年10月2日 佐久島(西尾市)

衛生問題



産業公害



都市生活型公害



地球環境問題

## ■ 地球環境問題 …「環境負荷」

総合的・長期的な計画

+  $\alpha$  の政策

- ① 経済的手法
- ② 情報的手法
- ③ 自主的取組促進手法

# 2005年日本国際博覧会の開催

世界規模に広がった環境問題に取り組む必要が出てきた中、世界初の環境万博を始め、3つの国際イベントが本県で開催され、環境への高い意識が根付いてきた。



会場風景



グローバル・ループ



廃棄物の3R



自然体感プログラム

# 生物多様性条約第10回締約国会議(2010年)の開催

180カ国、国際機関、NGO等の参加により、生物多様性保全の目標「愛知目標」などが採択され、県にとって生物多様性への取組を推進していく大きなきっかけとなった。



締約国会議



生物多様性国際自治体会議



生物多様性国際ユース会議



子どもCOP10あいち・なごや

# ユネスコ世界会議（2014年）の開催

持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議の開催により、環境面における「人づくり」を多様な主体と連携・協働して取り組むことの重要性が再認識された。



全体会合の様子



歓迎レセプション



ESDあいち・なごや子ども会議



ESDイヤーキックオフイベント

**1 愛知の50年の環境のあゆみ**

**2 第5次愛知県環境基本計画**

**3 環境局の主な取組**

# 愛知県環境基本計画

- 愛知県環境基本条例に基づき策定
- 本県における環境の保全に関する長期的な目標・施策の方向性を示すもの

## 愛知県環境基本計画（1997年8月策定）

「あいち環境社会」の実現  
(循環を基調とした社会、多様性が尊重され共生が進む社会、  
文化的で感性豊かな社会、自立と協働が進む社会)

## 第2次愛知県環境基本計画（2002年9月策定）

「循環」、「共生」、「安心」、「協働」を通して「あいち環境社会」を実現

## 第3次愛知県環境基本計画（2008年3月策定）

「脱温暖化」、「資源循環」、「自然共生」、「安全・安心」、「参加・協働」を通して  
「自然の叡智に学ぶ持続可能な循環型社会づくり」を実現

## 第4次愛知県環境基本計画（2014年5月策定）

「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』」を実現

【社会経済情勢の変化】

【環境を取り巻く状況】

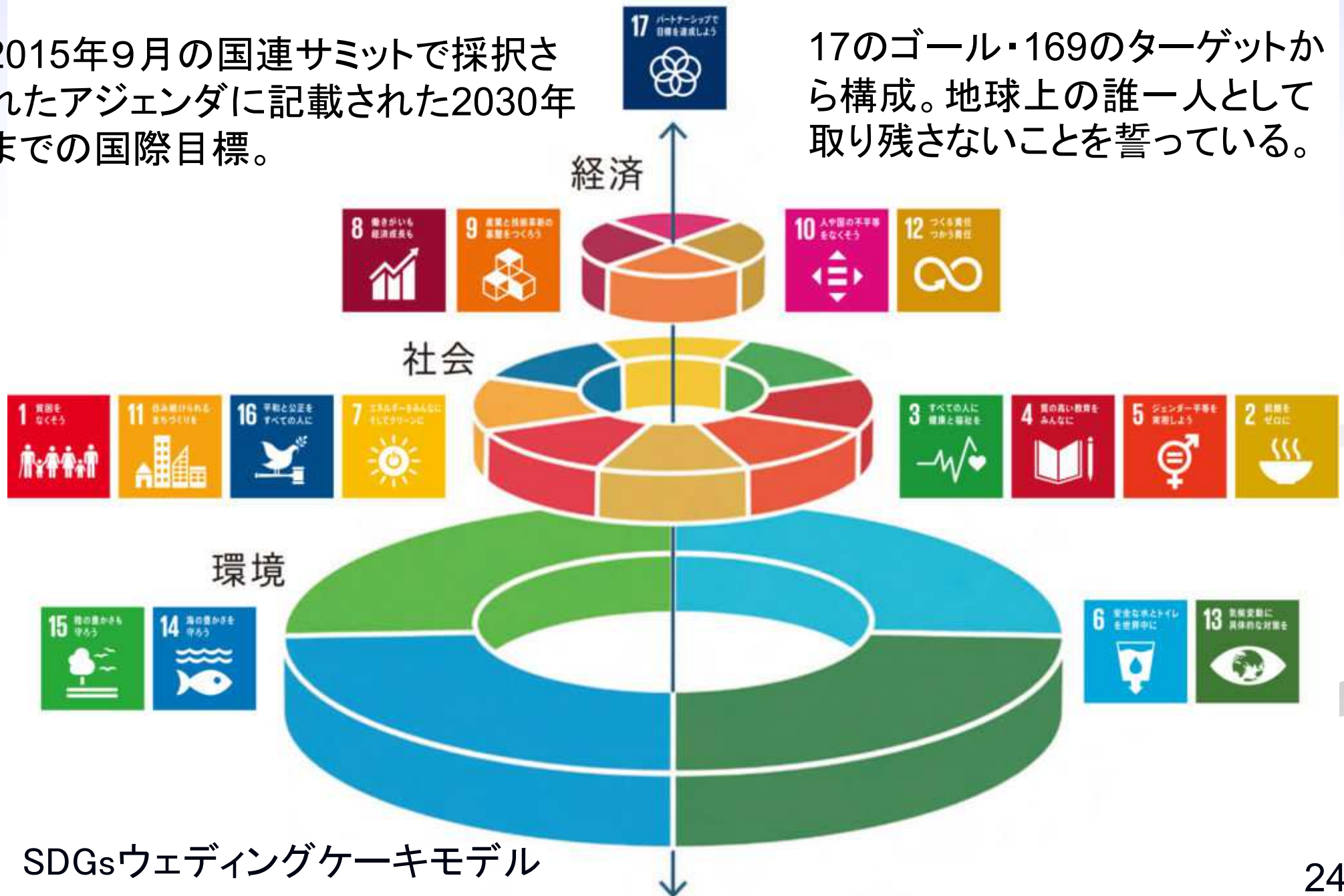
## 第5次愛知県環境基本計画（2021年2月策定）

「SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する  
『環境首都あいち』」を実現

# SDG s (Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択されたアジェンダに記載された2030年までの国際目標。

17のゴール・169のターゲットから構成。地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

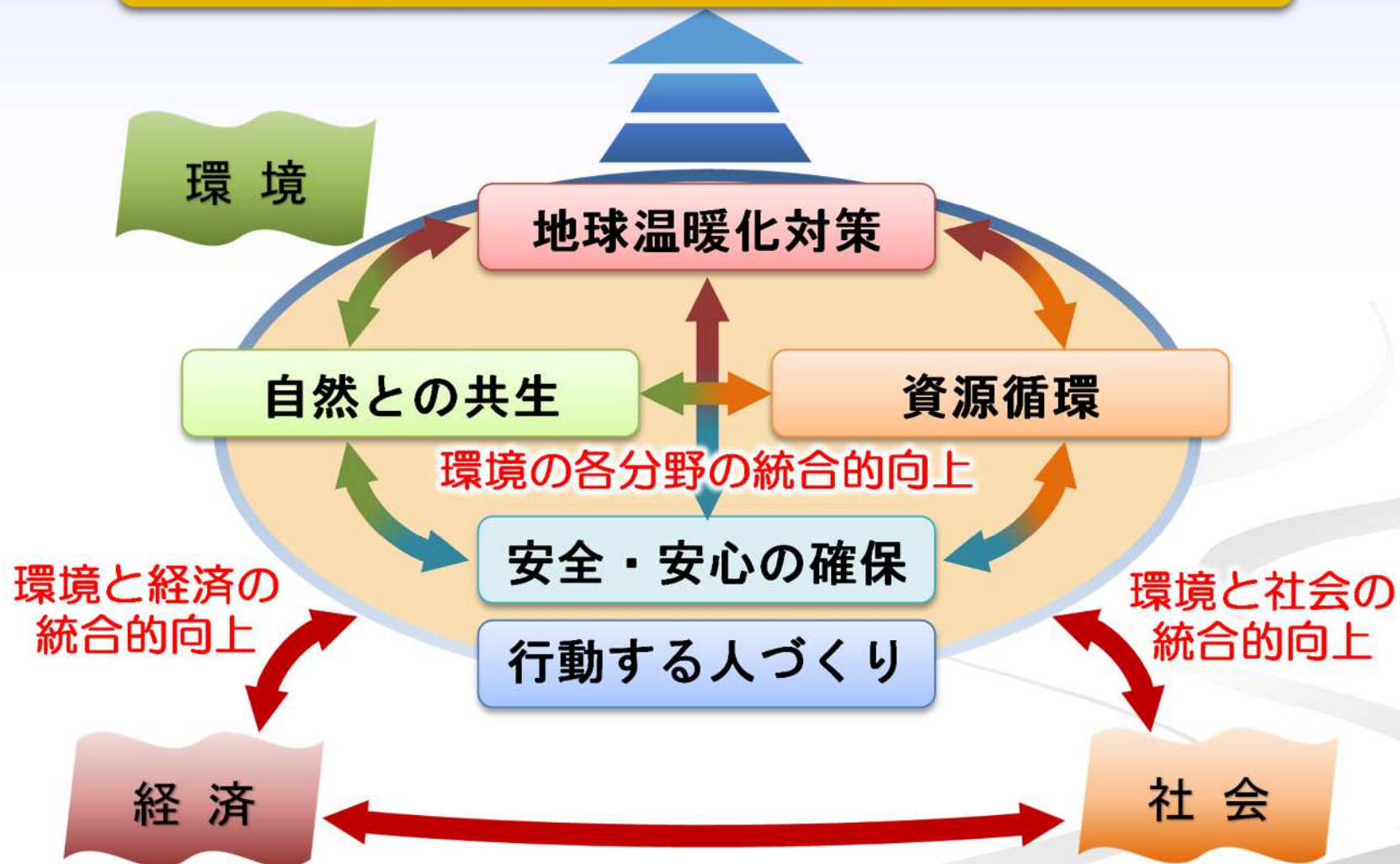


SDGsウェディングケーキモデル



# 環境施策の展開イメージ

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」

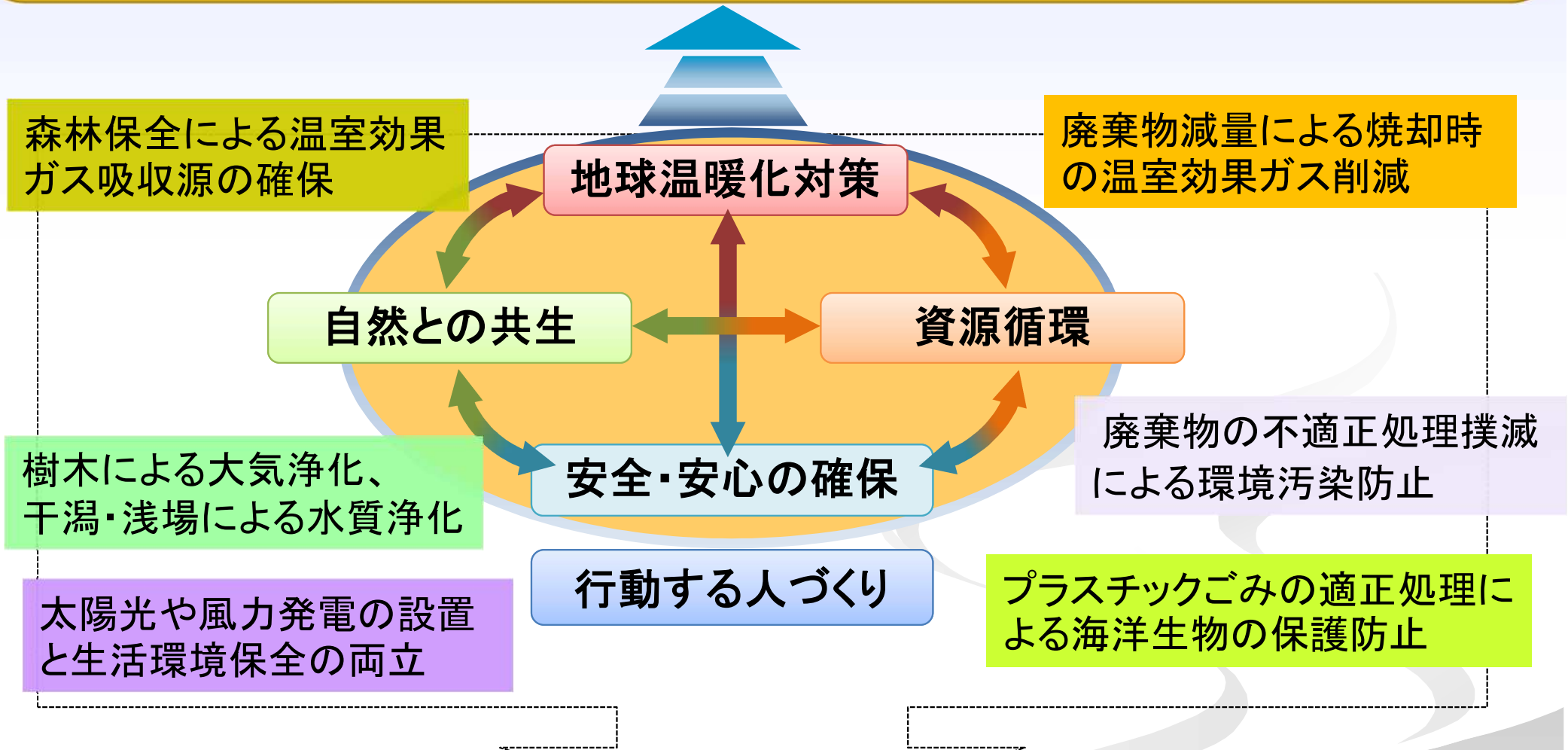


【目指すべき姿】

- 環境の各分野の統合的向上：日本一環境にやさしいあいち
- 環境と経済の統合的向上：環境と経済成長が好循環しているあいち
- 環境と社会の統合的向上：地域が活性化している魅力あるあいち

# 環境の各取組分野の関連性

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」

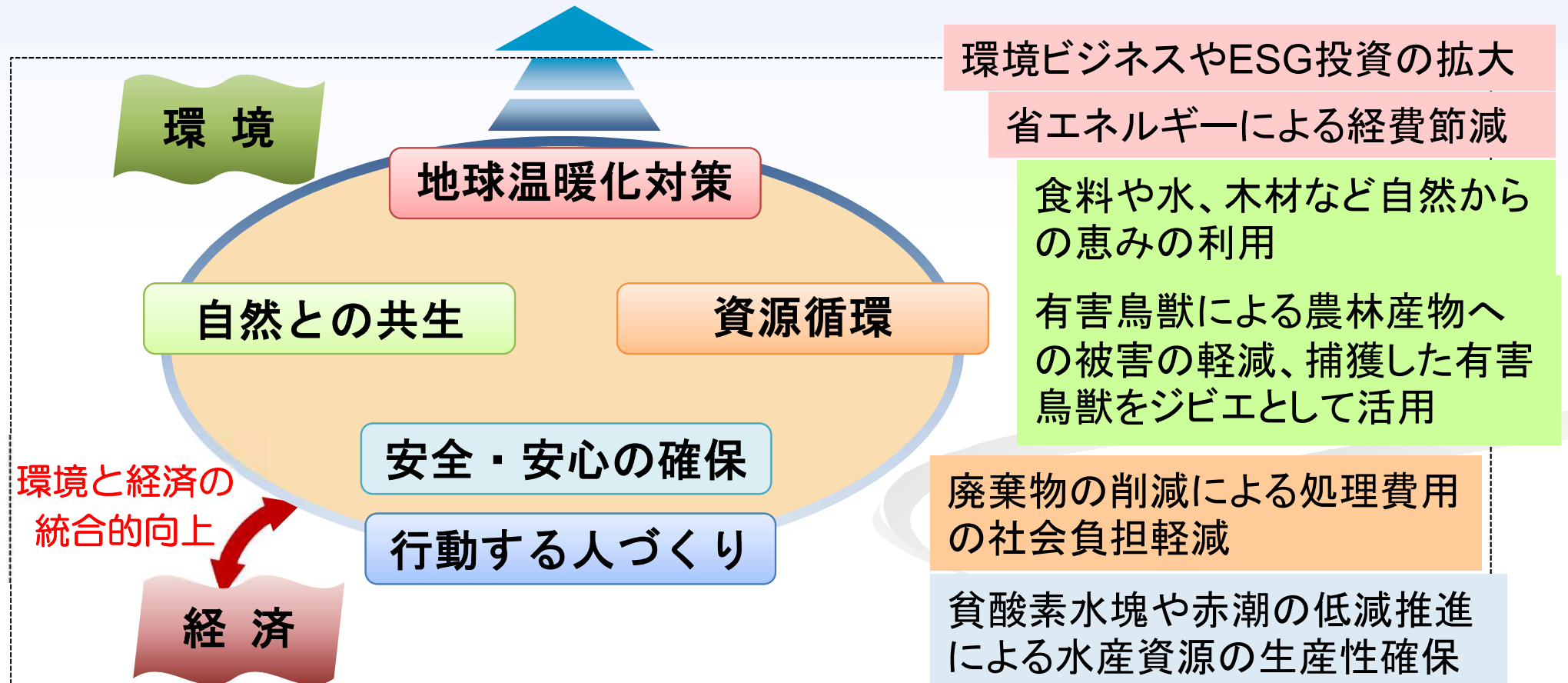


## 目指すべき姿 その1

安全・安心はもとより、地球温暖化対策、自然との共生、資源循環の各分野が連携しながら統合的な向上が図られ、日本一環境にやさしいあいち

# 環境の各取組分野と経済の主な関わり

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」

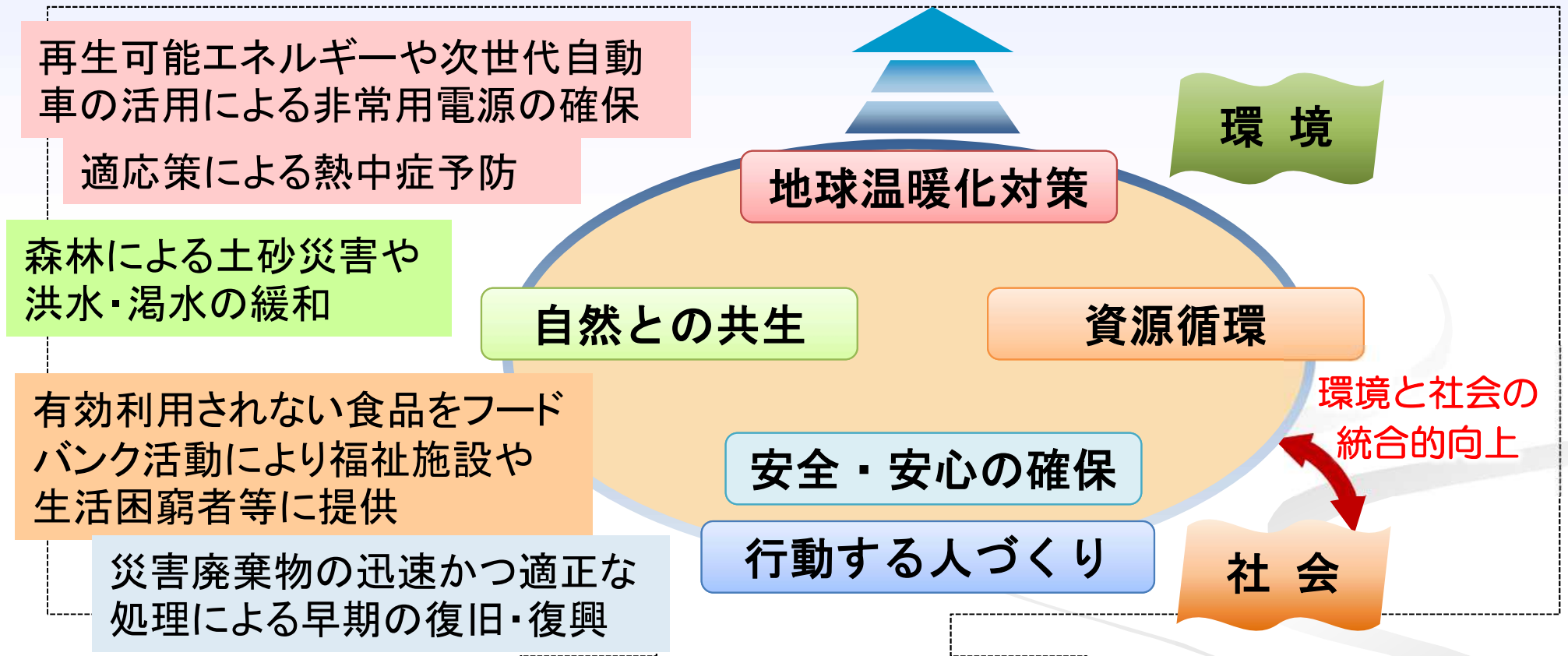


## 目指すべき姿 その2

地球規模の環境危機を認識した上で、環境課題の解決と企業の利益を同時実現する考え方が定着し、環境と経済成長が好循環しているあいち

# 環境の各取組分野と社会の主な関わり

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」



## 目指すべき姿 その3

県民一人一人がSDGsを認識し、環境に配慮したライフスタイルを実践するとともに、多様な主体が環境保全活動に取り組んでいる。また、気候変動により増大する自然災害や感染症のリスクも踏まえ、環境負荷の少ないまちづくりを進めるとともに、地域資源を有効に活用し、農山漁村と都市が交流するなど地域が活性化している魅力あるあいち

# 1 愛知の50年の環境のあゆみ

## 2 第5次愛知県環境基本計画

### 3 環境局の主な取組

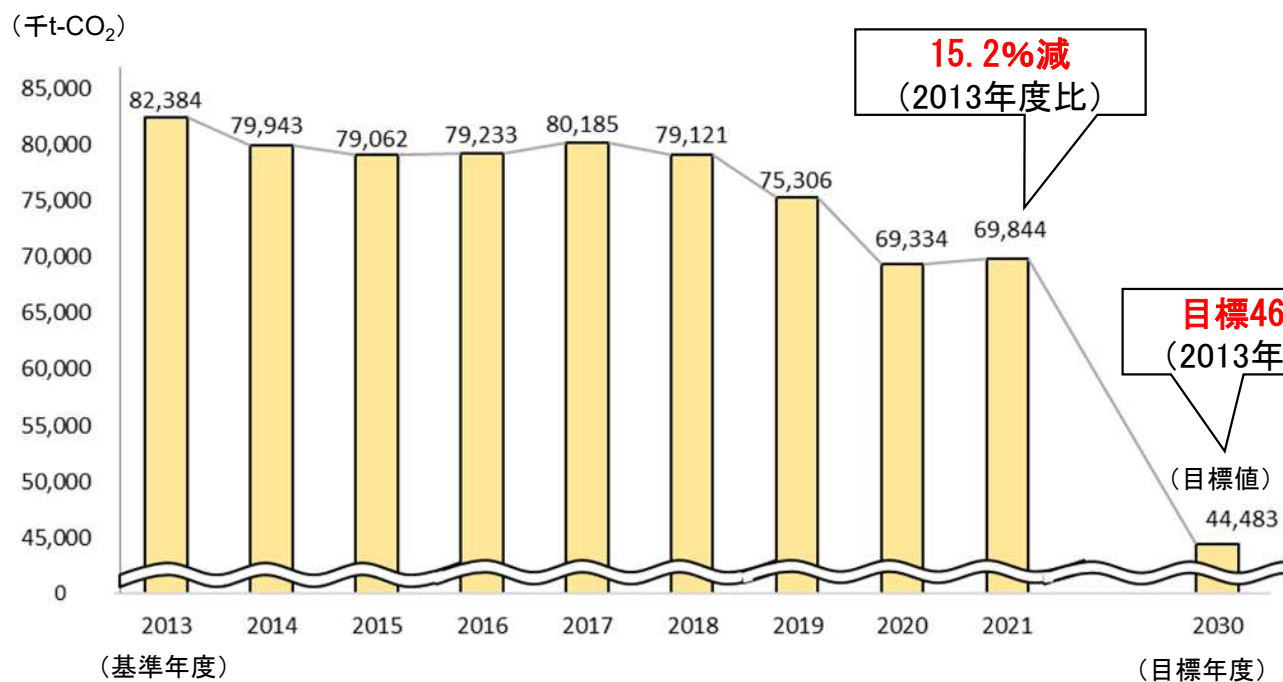
**地球温暖化対策、自然との共生、資源循環、  
安全・安心の確保、行動する人づくり**

# 地球温暖化対策

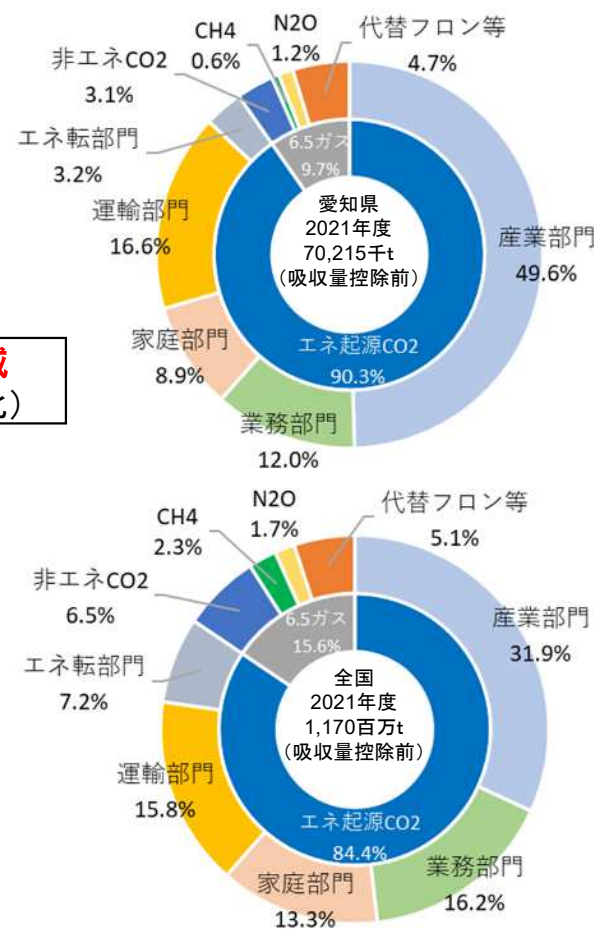
## ～温室効果ガスの排出状況～

- 2021年度の本県の温室効果ガス総排出量(森林吸収量控除後)は **6,984万ト**(CO<sub>2</sub>換算)、全国排出量の約6%で、全国最多レベル。(県内GDPあたりの排出量は全国33位)
- 部門別の排出量では、産業部門の割合が49.6%で、全国に比べて高い。
- 近年の温室効果ガス総排出量は減少傾向にあるが、2021年度は新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた経済の回復等により増加。(前年度比で0.7%増、2013年度比で15.2%減)
- 温室効果ガス排出量の約90%がエネルギー起源CO<sub>2</sub>である。

愛知県の温室効果ガス排出量(森林吸収量控除後)の経年変化



温室効果ガス排出量の内訳(2021年度)



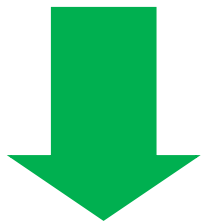
- 1994.3 あいちエコプラン21
- 2000.3 あいちエコプラン2010
- 2005.1 あいち地球温暖化防止戦略
- 2012.2 あいち地球温暖化防止戦略2020



あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）

### 2018.2 あいち地球温暖化防止戦略2030

- ・ 目標：2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で **26%削減**
- ・ 長期目標：2050年頃に持続可能な**低炭素社会**を実現する



国のカーボンニュートラル宣言や、温室効果ガス排出削減目標の引き上げ等を踏まえて**戦略2030を改定**

### 2022.12 あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）

- ・ 目標：2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で **46%削減**
- ・ 長期目標：2050年までに**カーボンニュートラル**の実現を目指す

○ 地球温暖化についての意識を高め、県民一人一人に脱炭素型ライフスタイル、製品・サービスの賢い選択を呼びかけるため、「**あいち COOL CHOICE**」**県民運動**を推進



### ①夏休み！おうちでエコアップ大作戦

夏休み期間中に、小学生とその家族が、省エネ行動をはじめとした環境配慮項目が記載されたチェックシートを利用しながら、エコアップ行動の実践に取り組む

(2023年度 5,049家族、62小学校参加、約11tCO<sub>2</sub>削減)

### ②ストップ温暖化教室

小学校の総合的な学習の時間等を活用し、クイズや実験などを通して楽しみながら地球温暖化対策について学ぶ出前授業を実施(2023年度 10,026名受講)



ストップ温暖化教室の様子

### ③ブース出展

県や市町村等が開催するイベントに県職員及び地球温暖化防止活動推進員が地球温暖化防止に関するブースを出展

### ④省エネ家電普及啓発事業

あいち省エネ家電サポーター店の登録・公表(登録数858店(2024年3月現在))

### ⑤あいち地球温暖化対策フォーラム

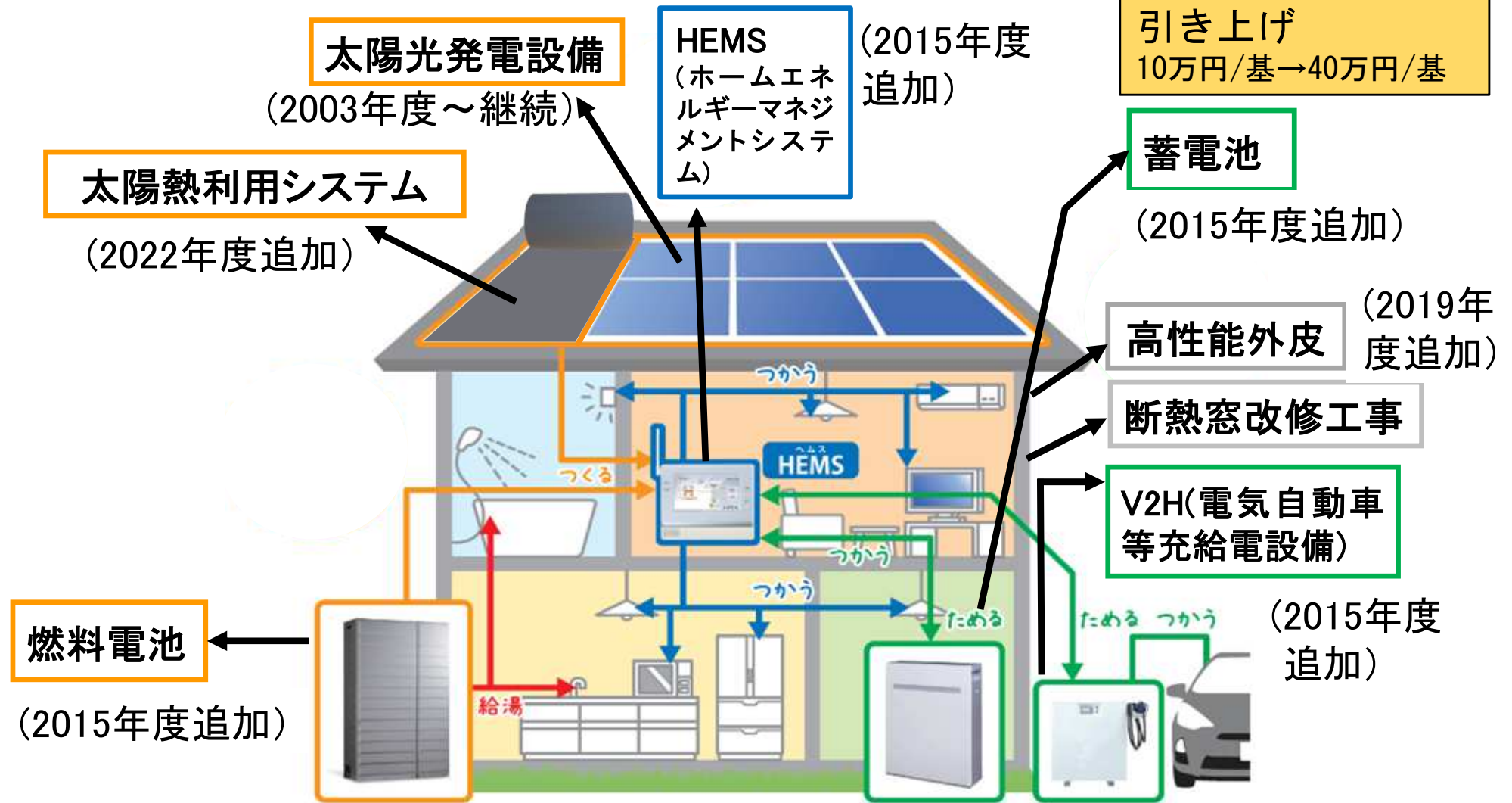
2023年12月21日開催

2024年12月20日開催予定



### 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金

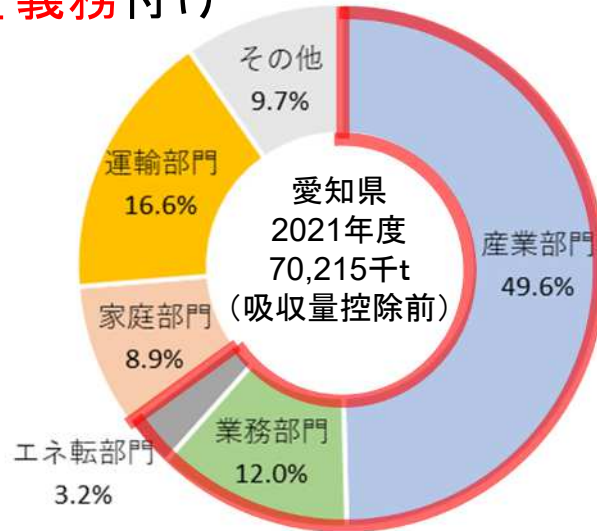
- 県と市町村による協調補助を実施(2003年度～)



住宅用太陽光発電設備: 県内約27万基設置(全国第1位)(2024年3月現在)

### 地球温暖化対策計画書制度

- 温室効果ガスの総排出量が相当程度多い事業者（原油換算エネルギー使用量の年度の合計が1,500kl以上の事業者等）に対して、削減計画書とその実施状況書の提出を義務付け

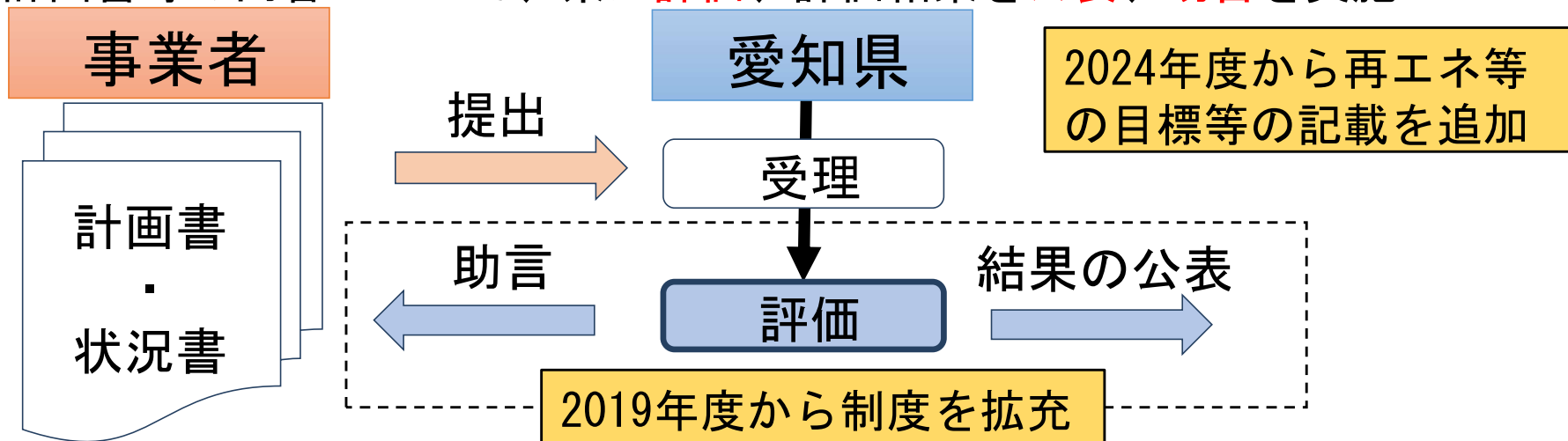


産業・業務・エネ転部門の排出量 6割強

このうち約7割強を対象事業者の排出量が占める

対象：約740者(助言40者(2023年度))  
2021年度：3,466万t-CO<sub>2</sub>  
2023年度：3,342万t-CO<sub>2</sub>  
増減率：▲3.6%

- 計画書等の内容について、県が評価、評価結果を公表、助言を実施



### ● 補助制度

#### 再生可能エネルギー設備導入支援事業費

- 再生可能エネルギー発電等設備、再生可能エネルギー熱利用設備を導入する費用の一部を補助



太陽光発電



風力発電



バイオマス発電



水力発電



蓄電池

水素関連設備  
エネルギー  
マネジメントシステム



太陽熱利用



バイオマス  
熱利用

#### 省エネルギー設備等導入支援事業費

- エネルギー消費効率の高い設備を導入する費用の一部を補助
- 建築物のZEB化に必要な費用の一部を補助

### ● 融資制度

#### パワーアップ資金【カーボンニュートラル】

- 環境負荷低減設備を導入する中小企業者を対象に融資、利子の引下げ

EV  
PHV  
FCV

### 導入支援

#### 国、県の税制優遇

2023年度県実績：9,181台 (累計は54,790台)

#### 国・県からの補助金の交付

2023年度県実績：1,474台

### インフラ 整備支援

#### 国・県からの補助金の交付

#### 県の整備・配置計画に基づく 整備促進

充電インフラ基数：1,537基 (2023.3)

水素ステーション数：36箇所 (2024.3 整備中を含む)



画像出典：日産自動車(株)、トヨタ自動車(株)WEBページ

### 先進環境対応自動車導入促進費補助金

- 中小企業等に対して、EV等を購入する際の費用の一部を補助。

＜補助対象の車種及び補助額(白ナンバー乗用車の例)＞

補助対象車種		補助額
電気自動車 (EV)		40万円 (上限)
プラグインハイブリッド自動車 (PHV)		10万円 (定額)
燃料電池自動車(FCV)		100万円 (定額)

### 自動車税種別割の課税免除

- **本県独自に**、EV・PHV・FCVに対し、**課税免除**(購入年+5年)を実施。

EV・PHV・FCV総普及台数:41,129台(全国第2位) (2023年3月現在)

### 充電インフラ整備促進費補助金

- EV・PHVの充電設備を設置する者に対し、**設備購入に係る費用の一部を補助**。(2024年度新規)

項目	内容
補助対象施設	基礎充電：集合住宅、工場・事業場 等 目的地充電：商業施設、宿泊施設 等
補助対象設備	普通充電：普通充電器 充電用コンセントスタンド 充電用コンセント 急速充電：急速充電器
補助対象経費	補助対象設備の購入費
補助率	1 / 4
補助限度額	普通充電：17.5万円 急速充電：125万円



### ブルーカーボンの推進

効果的な藻場の造成手法の知見を得るため、海洋環境が異なる地域において、最適な藻場の増殖技術を検証する実証実験を実施するとともに、認知度向上のため普及啓発を実施

#### 実証実験の概要

##### (1) 時期

ア 株移植 (2025年 1月～ 2月頃)

イ 播種 (2024年10月～11月頃)

##### (2) 場所

西尾市佐久島及び南知多町片名

##### (3) 実験で用いる増殖技術

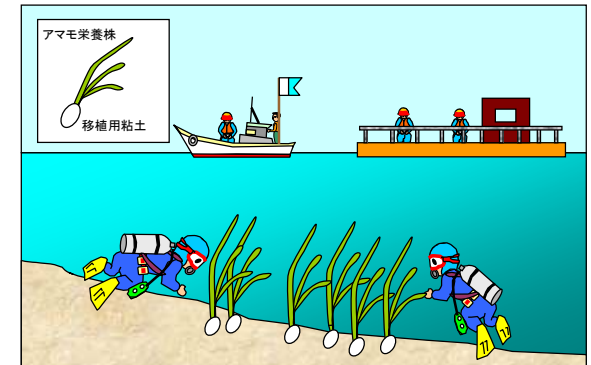
ア 株移植：粘土結着法を予定

イ 播種

①粘土法：紙粘土に種子を貼り付け海底に埋設。1m<sup>2</sup>あたり5個設置する。

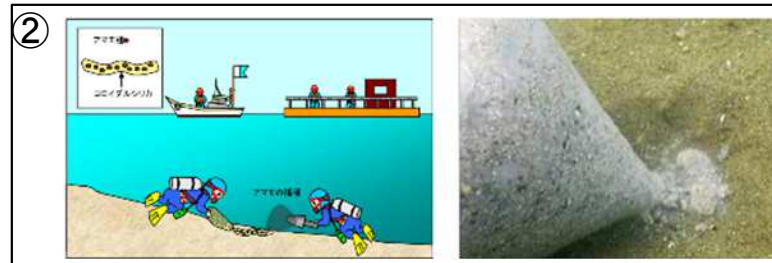
②コロイダルシリカ法：コロイダルシリカに腐葉土、砂、種子を混入し、海底に作った畝に絞り出す。

③麻袋法：砂と種子を麻袋に詰め、海底に設置する。麻袋は鉄筋棒等で固定する。



#### 【粘土結着法】

地下茎に紙粘土を50g/株 程度  
巻き付け移植する手法



#### 【今後の展開】

実証実験を通じ、藻場造成の有効性を検証して広く周知するとともに、将来的なカーボンクレジット創出に向けたあり方を検討し、企業、NPO等の取組を促して、三河湾のアマモ場の造成を進める。

民間の優れたアイデアを具体化・実践することにより、ブレイクスルーを起こし、取組を加速

### あいちカーボンニュートラル戦略会議

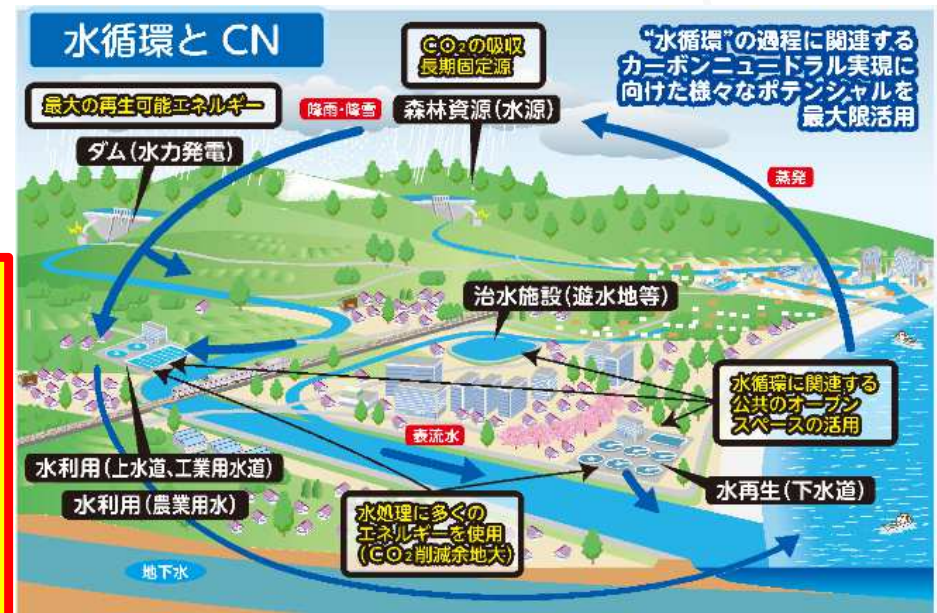
- 本県のカーボンニュートラルの実現に向け、**革新的・独創的な民間の発想を活かした事業・企画アイデアを募集**
- 学識者で構成される「あいちカーボンニュートラル戦略会議」による事業化すべきプロジェクトの選定、具体化・実践

第1弾 「矢作川・豊川CN（カーボンニュートラル）プロジェクト」

第2弾 「アジア競技大会選手村後利用事業における『街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり』プロジェクト」

第3弾 「CO2コンクリート固定化技術を用いた域内カーボンリサイクルプロジェクト」

第4弾 「荷主と運輸事業者等の連携による物流脱炭素化プロジェクト」



矢作川・豊川CNプロジェクトイメージ図



### 2023年度戦略会議における新規選定プロジェクト(2件)

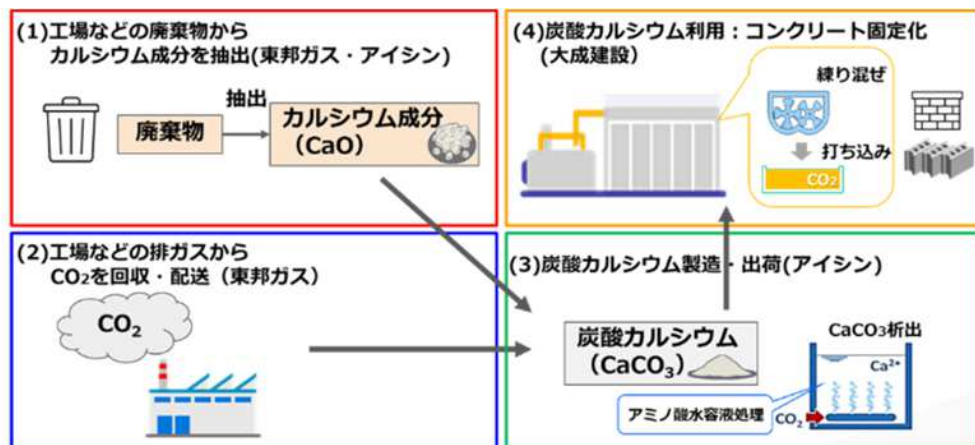
#### ○ CO<sub>2</sub>コンクリート固定化技術を用いた 域内カーボンリサイクルプロジェクト

##### 【提案企業】

大成建設株式会社、株式会社アイシン、  
東邦ガス株式会社

##### 【概要】

工場等の排ガスからCO<sub>2</sub>を回収・固定化し、  
コンクリートの原料に利用するサプライチェーンを構築



#### ○ 荷主と運輸事業者等の連携による 物流脱炭素化プロジェクト

##### 【提案企業】

ワタミ株式会社、株式会社ムロオ、  
三和清掃株式会社

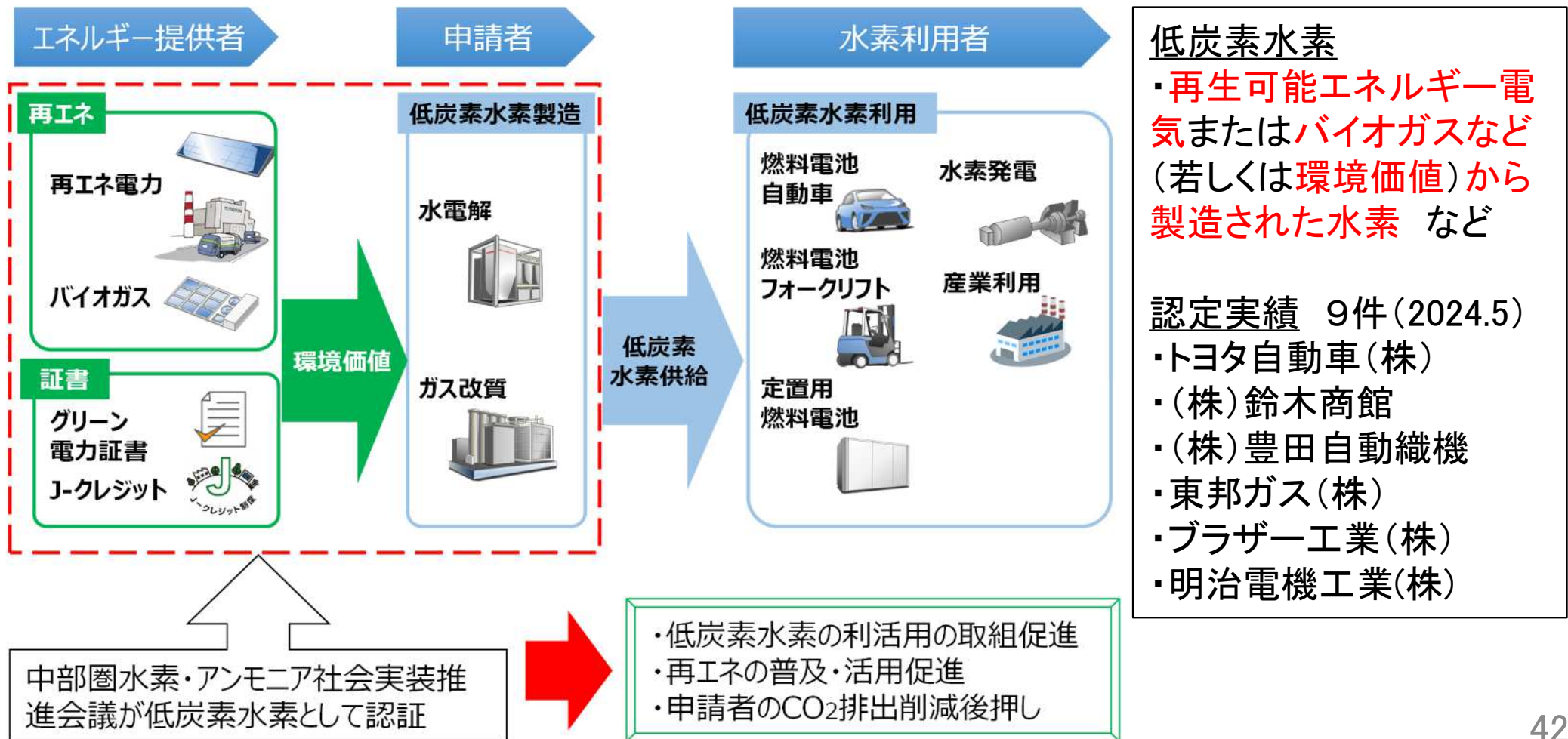
##### 【概要】

荷主や運輸事業者等の連携により、FCトラックを先行導入して物流のFC化モデルを構築し、物流業界全体に横展開



## 中部圏低炭素水素認証制度

- ・水素の製造、輸送、利用に伴うCO<sub>2</sub>の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する制度を2018年4月17日に制定。
- ・2023年4月から「中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョン」に基づき、低炭素水素認証制度の対象範囲を中部圏に拡大し、中部圏が一体となって、低炭素水素サプライチェーンの構築を促進。



「人と自然が共生するあいち」の実現に向けて、県内における生物多様性保全の取組を推進

### あいち生物多様性戦略2030(2021年2月策定)

全ての主体がコラボレーション(協働)により生物多様性の保全を進める

**生態系ネットワークの形成**  
科学的知見に基づく多様な主体の協働により、生物の生息生育場所を確保し、つなげていく。

**生物多様性主流化の加速**  
県民の日常生活、企業や行政等の社会経済活動に生物多様性が組み込まれ、行動につながる。

#### 重点プロジェクト(10項目)

- |                  |                                   |
|------------------|-----------------------------------|
| A 湿地・里山ネットワーク    | F 鳥獣の保護・管理の推進                     |
| B 希少な動植物の保全      | G 事業者の保全活動の推進<br>(あいちミティゲーションの深化) |
| C 外来生物対策の強化      | H あいちの自然体感の推進                     |
| D 地域の保全活動の更なる活性化 | I 国際連携の推進                         |
| E 都市の自然の価値再発見    |                                   |
| J 推進プラットフォームの構築  |                                   |

## 生態系ネットワーク協議会



大学、NPO、企業、行政など多様な主体の協働の場として、県内全域をカバーする9地域で生態系ネットワーク協議会を設立（2011～2016年）



## あいち生物多様性企業認証制度

企業の生物多様性保全に関する取組を促進するため、優れた取組を実践している企業を認証  
(2022年度より運用)

### ○対象

対象愛知県内に本社又は事業所を置く企業

### ○評価の区分

#### ①認証

生物多様性保全に貢献する取組を行っている企業

#### ②優良認証

広がりや継続性があるなど、特に優れた取組を行っている企業

## 2022～2023年度の認証状況

区分	企業数※
優良認証	21社
認証	34社



## あいち生物多様性サポーターズ制度

- ・ 県民や市民団体、事業者等による生物多様性の保全活動の輪を広げ、生物多様性の主流化を加速するために設立（2022年3月から運用）
- ・ 登録者に、県からあいちの自然やイベントなどの情報を提供

### ○個人サポーター

- ・ 自然や生きものに関心のある方

### ○団体サポーター

- ・ 県内で生物多様性保全に取り組んでいるNPOなどの各種団体
- ・ 生物多様性保全に貢献していきたい企業

# 自然との共生 ～生物多様性保全の取組⑤～

## ユース(大学生等)を中心とした生物多様性保全活動

### 【考え方】

経済・社会の基盤である「**生物多様性**」の保全に、次代を担う「**ユース世代**」が中心となって取り組むことが、「**持続可能な社会**」の構築につながる

## 生物多様性 あいち学生プロジェクト

- 「愛知県SDGs未来都市計画」に基づき、2019年度よりスタート
- ユースを中心とした協働による生物多様性保全活動を推進するため、愛知県が県内9地域の生態系ネットワーク協議会とも連携の上、ユースによる保全活動をサポート

### 【これまでの活動事例】

#### ①保全活動体験



(写真:ソニーの森での森林整備体験)

#### ②企業の実験体験



(写真:トヨタの森)

#### ③活動アイデア検討



生物多様性を切り口としたSDGs達成に向け、活動継続中(※参加学生募集中)

# 資源循環 ～愛知県廃棄物処理計画など～

廃棄物の減量化や資源化を推進し、また、最終的に残った廃棄物の適正な処理を確保するため、2022年2月に愛知県廃棄物処理計画を策定  
県民、事業者、市町村、県等がそれぞれの責任と役割を認識し、相互に協力、連携して取組を推進

## 3Rの促進

各種リサイクル法の普及啓発、環境学習の促進、ごみゼロ社会推進あいち県民会議

## 排出事業者・処理業者に対する廃棄物の適正処理と監視指導の徹底

不適正処理の未然防止(監視パトロールなど)、排出事業者責任の徹底、優良産業廃棄物処理業者の育成、

## 非常災害時等における処理体制の構築

処理に係る基本方針(市町村連携、分別・選別の徹底と再資源化促進、民間との連携)

## 循環ビジネスの振興

あいちサーキュラーエコノミー推進プランの策定、あいち資源循環推進センターによる相談・技術支援

## プラスチックごみ削減の推進、食品ロス削減の推進



# 資源循環 ～循環ビジネスへの支援～

○ 循環ビジネスの発掘・創出、事業化から円滑な事業継続まで、連続的で切れ目なく支援。

## 循環ビジネスの発掘・創出

- ・循環ビジネスセミナーや、環境先進企業の見学会等を実施する「循環ビジネス創出研究会」を開催
- ・循環ビジネス創出コーディネーターによる相談・技術指導
- ・Web「あいち資源循環ナビ」による情報提供

## 循環ビジネスの事業化

- ・先導的で効果的なりサイクル施設等の整備や循環ビジネスの事業化検討に対して補助

## 情報発信など事業の継続支援

- ・県庁西庁舎1Fに展示コーナーを設置
- ・「愛知環境賞」として優れた環境技術や環境活動を表彰し全国へ発信
- ・企業展示会に、愛知県が環境ビジネスコーナーを設け、中小企業のPRをサポート

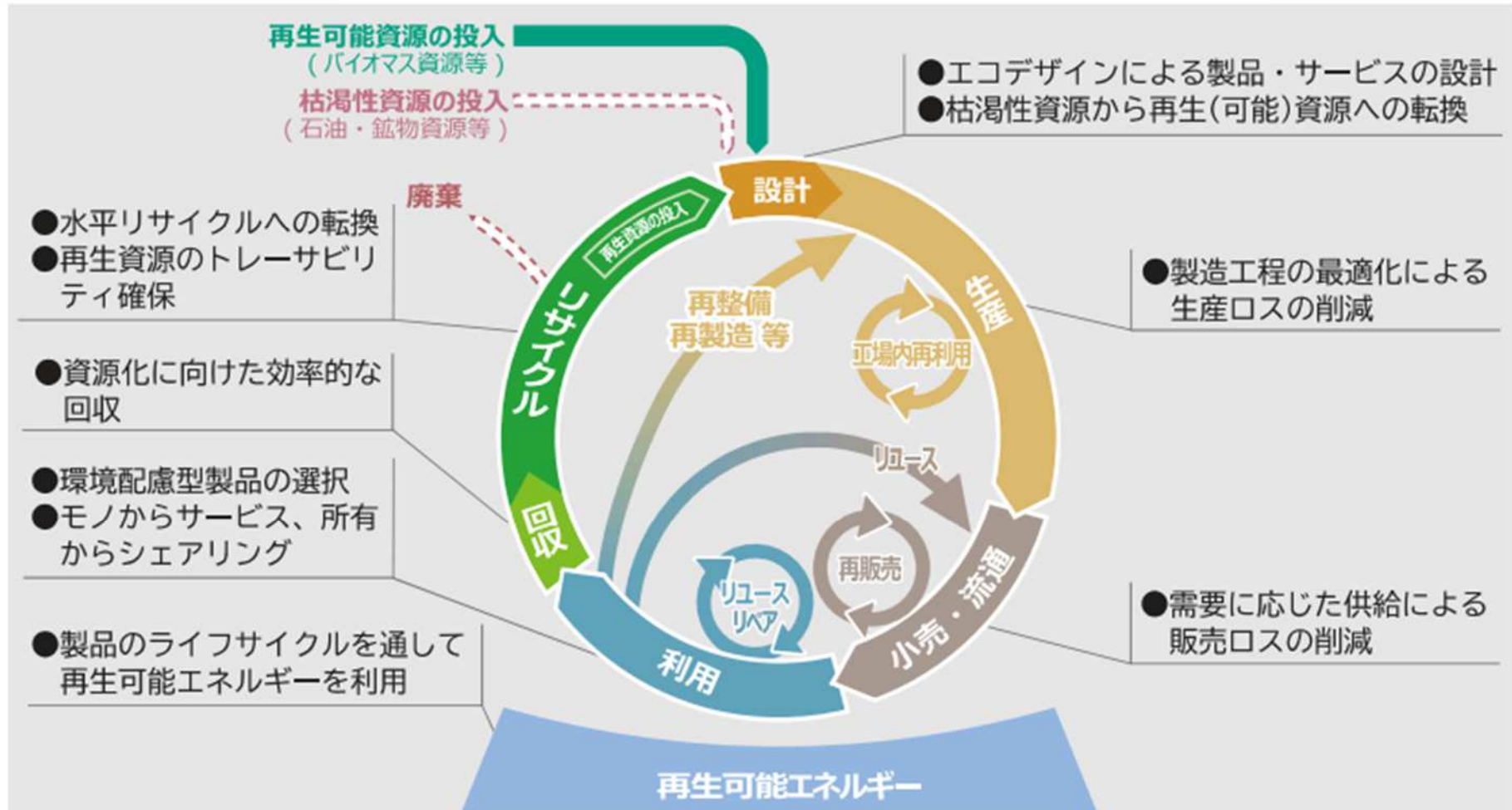
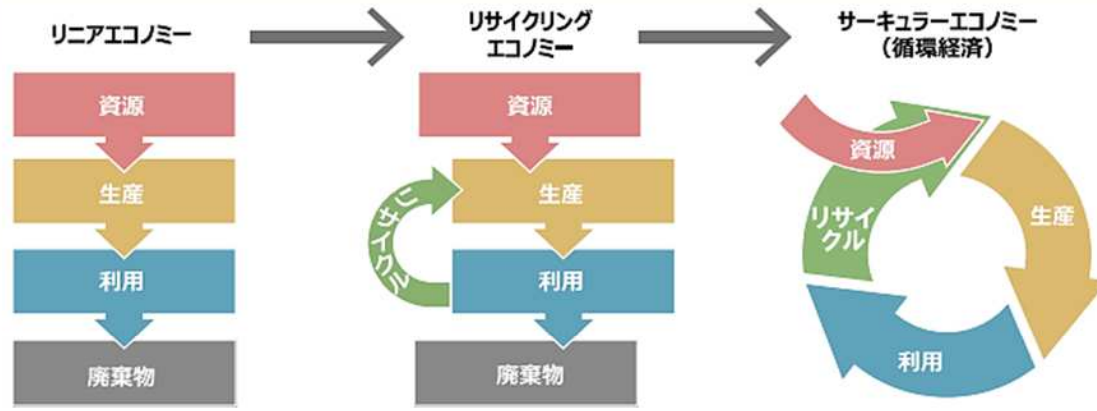


循環ビジネス創出研究会(現地見学会)



西庁舎1F 展示コーナー

# 資源循環 ～サーキュラーエコノミーの推進①～



# 資源循環 ～サーキュラーエコノミーの推進②～

## あいちサーキュラーエコノミー推進PT

事業者、有識者、行政からなるプロジェクトチーム（PT）を2023年1月に設立し、5年を目処に事業化を目指し取組中

PT①(廃プラスチック循環利用)	廃プラスチックのマテリアルリサイクルの拡大	19者 (17)
PT②(バイオマスプラスチック循環利用)	プラスチック代替となるバイオマスプラスチックの普及拡大	14者 (9)
PT③(太陽光パネル循環利用)	2040年頃の大量廃棄を見据えた太陽光パネルの循環利用	15者 (12)
PT④(繊維・衣類循環利用)	資源回収されていない衣類の再資源化	11者 (9)
PT⑤(リペア・リビルド普及)	リペア・リビルド技術の活用による設備・部品の長寿命化	8者 (6)
PT⑥(廃食用油利活用)	廃食用油をバイオ燃料として活用するリサイクルシステムの確立	11者 (9)
PT⑦(木質資源利活用)	木質廃棄物や未利用森林資源を有効利用するビジネスの創出・拡大	13者 (10)



設立合同会議



PT会議の様子

※ 参画者数は2024年10月末現在（計延べ91者）、括弧内は設立当初

安全で安心して暮らせる社会の前提となる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下、騒音、振動、悪臭などへの対策を着実に実施

## 大気環境・水環境の保全

- ・大気環境や水環境(河川、湖沼、海域)の監視・測定
- ・工場・事業場等への規制・指導
- ・アスベストの飛散防止対策



河川水質調査

## 土壌環境・地盤環境の保全

- ・地下水質の監視・測定
- ・土壌・地下水汚染の未然防止、汚染判明時の指導・調査
- ・地盤沈下、地下水位の監視・測定
- ・工業用水法、県条例等に基づく地下水揚水規制



愛知県環境調査センター

## 騒音・振動・悪臭の防止

- ・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく市町村の規制の支援

## 環境汚染の基盤となる施策・その他

- ・環境影響評価制度の的確な運用
- ・PCB廃棄物の適正な保管および期限内処理の推進
- ・災害発生時における体制の強化
- ・中小企業者等が進める公害対策への融資・利子補給



災害廃棄物図上演習

# 安全・安心の確保

## ～三河湾環境再生～

県民の里海である三河湾の環境を再生し次世代へ贈るため、多様な主体による「三河湾環境再生プロジェクトーよみがえれ！生きものの里“三河湾”ー」を実施



三河湾に関心を持ってもらうため、

- ・三河湾を知ってもらう
- ・三河湾に触れてもらう
- ・三河湾の魅力を高める



三河湾の環境再生に向けて、事業を展開

- ・三河湾について知る、学ぶ機会の提供
- ・里海再生に向けた調査活動
- ・NPO等の活動支援

### 三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ

- ・三河湾に関わるNPO、企業、業界団体、教育機関、行政等が連携・協働して、プロジェクトを推進
- ・2019年にシンボルマークとサポーターズカード作成

### 参加型イベント「三河湾大感謝祭」

- ・海の生きものに触れ合う展示、海の幸の試食等

### 三河湾環境学習会

- ・県立三谷水産高校の実習船「愛知丸」を活用し、水質・底質の調査など体験型学習会を実施

### 三河湾環境再生体験会

- ・干潟の生きものや水質浄化機能等の観察に加え、干潟の保全活動体験を盛り込んだ体験会を開催



シンボルマーク



サポーターズカード

# 行動する人づくり

未就学児童から中高年・シニアまで、世代に応じた持続可能な社会の担い手を育成する「人づくり」を推進

## <もりの学舎ようちえん>

四季を通じて自然を体感するプログラムの実施

## <指導者養成>

未就学児童向けプログラムのノウハウを習得



未就学児童

## <あいち環境学習プラザ>

「あいち環境学習プラザ」等で実験等を交えた体験型の環境学習講座

## <もりの学舎キッズクラブ>

自然体験型の環境学習

## <あいちの未来クリエイト部>

地域の環境を調査・研究し、教材を作成

小・中学生  
高校生



## <かがやけ☆

## あいちサスティナ研究所>

企業から提示された環境課題に対し、大学生が企業とディスカッションし、解決策を提案



企業現場での研究活動

大学生

## <あいち環境塾>

各分野で活躍する講師の講義や意見交換を行い、未来社会へ向けての環境に関する政策や事業モデルを提言

## <あいちecoティーチャー>

中高年・シニア世代を環境学習の講師として養成し、環境学習施設やイベントなどで講座を実施

社会人  
中高年・シニア





# かがやけ★ あいちサステイナ研究所



## プログラム概要



パートナー企業（2015年～2024年度で46企業が参画）

2024年度 (株)アルペン、(株)ウッドフレンズ、(株)サガミホールディングス、  
シヤチハタ(株)、大同メタル工業(株)、(株)マキタ、  
マックスバリュ東海(株)、(株)LIXIL

2023年度まで (株)コメダ、(株)サーラコーポレーション、中京テレビ放送(株)、  
中部テレコミュニケーション、日本ガイシ(株)、(株)吉本興業(株)



## START

オリエンテーション・開所式



## 企業環境活動研究 4日間

企業の担当者とdiscussion  
学生目線で課題検討



成果発表準備  
解決策をBrush UP!



成果発表会 (2024.12.8 名古屋大学)

※写真は昨年度の成果発表会の様子





主催:愛知県 共催:愛知県長懇話会(SDGs企画委員会) 協力:名古屋大学

かがやけ★  
あいちサステイナ研究所

## 成果発表会 2024

**参加無料**  
要予約申し込み

2024 12/8 日 開場 12:30 開会 13:00  
会場 名古屋大学 E1創発工学館 FUJIホール

### プログラム

研究成果発表会 13:00~15:30 修了式&表彰式 16:00~16:30



### 2024年度パートナー企業(五十音順)

 スポーツをもっと身近に			
			



当発表会は、第17回愛知県長懇話会SDGs  
リレーションシップに位置づけて開催します。

## 成果発表会2024

「かがやけ★あいちサステイナ研究所」は、未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業8社から提示された課題面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が8チームに分かれて、現場での調査や企業担当者とのディスカッションを実施してまとめ上げた解決策を発表します。

### 研究成果発表会 [13:00~15:30]

8チームが研究成果をプレゼンテーション

〈企業の課題研究の様子〉



### 修了式&表彰式 [16:00~16:30]

修了証授与・最優秀賞等の発表

「かがやけ★あいちサステイナ研究所」の  
詳細はこちらをご覧ください

<https://www.gr.jp/aichi/2024/04/kagayake-sustainable.html>



### 観覧者募集について

申込期間 12月4日(水) (必着) 申込方法 申込フォームより申込みください。  
[https://www.aichidok.or.jp/prof/aichi-1/other/offer/aij\\_data?tempCode=102290](https://www.aichidok.or.jp/prof/aichi-1/other/offer/aij_data?tempCode=102290)

定員 70名 (要事前申込み・先着順) 申込フォームによる申込みが困難な場合は、氏名(ふりがな)、電話番号及びメールアドレスを記入の上、電子メールにより下記事務局まで申込みください。

参加費 無料

※観覧人数を定めて申込みする場合は、代表者の氏名及び観覧者全員の名前を記入してください。  
※申込みが承認された後、申し込みの状況により観覧できない場合がございます。



ご来場の皆様に8チームの発表の中から1チームに投票していただけます!



「かがやけ★あいちサステイナ研究所」事務局  
(〔株〕新東通信内(理事室兼託先)) 10:00-17:00  
TEL 050-3528-2896 ※土日祝日不可  
お問合せ E-mail kankyo@aiichi-kagayake.com

名古屋大学 E1創発工学館 FUJIホール  
〒464-8603 名古屋市中区区不町

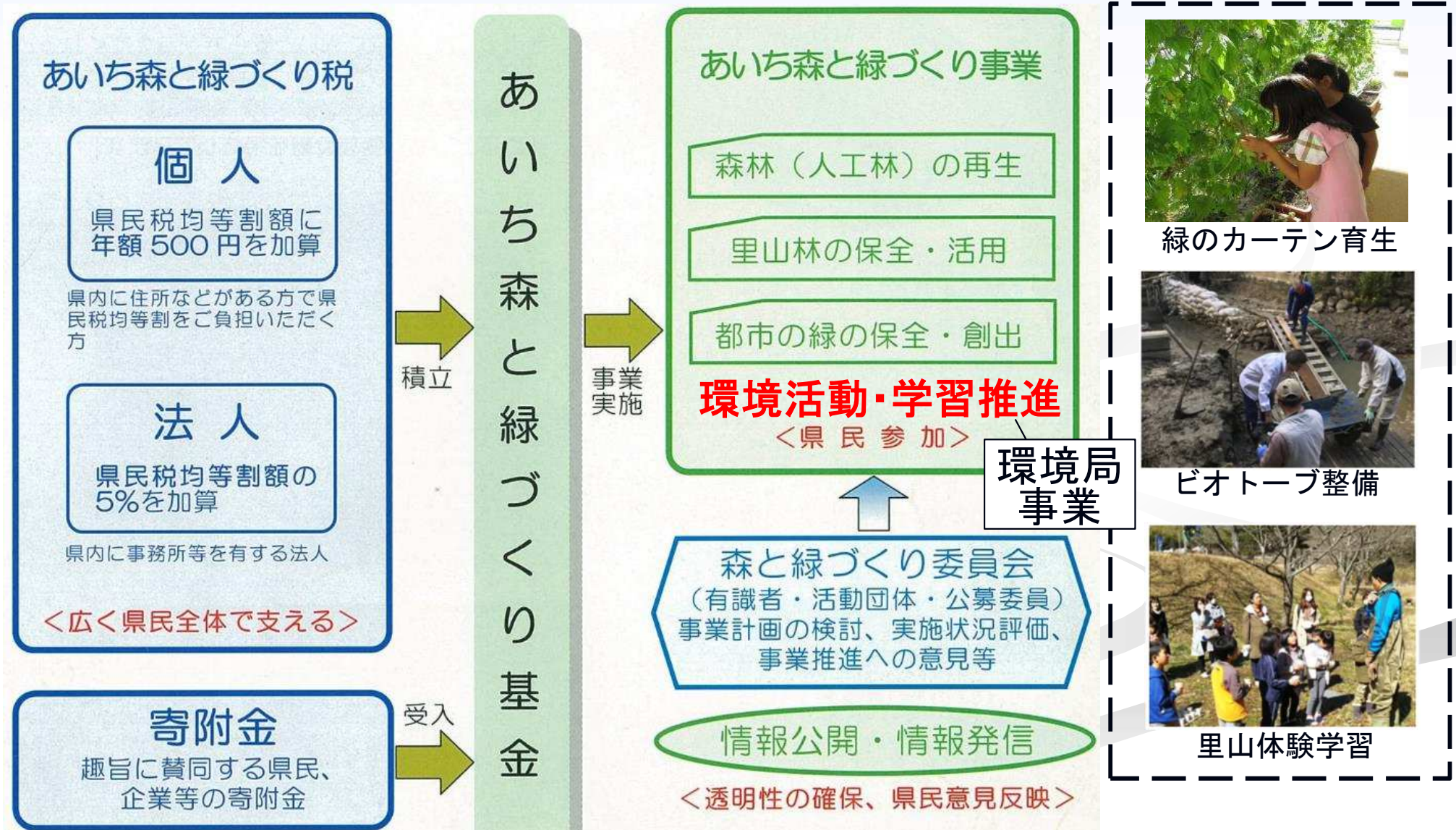
地下鉄名城線「名古屋大学」駅  
3番出口から徒歩約3分

アクセス  
※本会場の最寄り公共交通機関をご利用ください。



# 行動する人づくり ～あいち森と緑づくり事業～

2009年度に「あいち森と緑づくり税」を創設し、森と緑の持つ様々な公益的機能の発揮のため、森林、里山林、都市の緑を整備保全等の取組を推進



# 行動する人づくり ～環境配慮の促進～



## あいちエコアクション・ポイント

5つのエコアクションで、ポイントを集めよう!!

参加  
無料

### 1 グリーン購入

10P 50P

省エネ家電

家電 衣類 食品 家庭用品  
文房具



### 3 使用済みクリーニング ハンガーの返却

10P



### 4 飲食店での 食べ残しゼロ

10P



### 2 プラスチック製 カトラリー類の辞退

10P



### 5 フードバンク等への 寄付

10P



参加  
方法



専用サイトで  
アカウントを作成



エコアクションを実施  
(例：飲食店での食べ残しゼロ)



QRコードをスマホで  
読み取りポイントゲット



賞品の抽選に応募

県民の方の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、5つの「エコアクション」に対して、「あいちエコアクション・ポイント」を発行

# 行動する人づくり ～ SDGsの普及促進～

～日本最大級のSDGs推進フェア～

## SDGs AICHI EXPO 2024

日程：2024年10月10日（木）～12日（土）

場所：Aichi Sky Expo【愛知県国際展示場】

テーマ：パートナーシップで創造する新たな可能性

<https://sdgs-aichi.com/>

SDGsをみんなの手で



目的

- 多様な主体のネットワーク化の促進
- SDGsの普及・浸透

内容	企業、学校、NPO等によるブース出展
	多様なステージイベント
	子供も大人も楽しめるワークショップ
構成団体	愛知県
	一般社団法人中部SDGs推進センター
	環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）
	日本青年会議所愛知ブロック協議会
	NPO法人愛知環境カウンセラー協会
	国際連合地域開発センター（UNCRD）
国際協力機構（JICA）中部センター 等	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 行動する人づくり ~SDGs AICHI EXPO 2024~



**ブース出展** 企業、NPO、大学・高校など127団体がSDGsの取組を紹介



## ステージイベント

SDGsに関する講演・セミナー、ファッションショー等を実施



## 愛知県ブース

木で作られた街をイメージしたブースで県の取組を体感

# あいち環境イノベーションプロジェクト

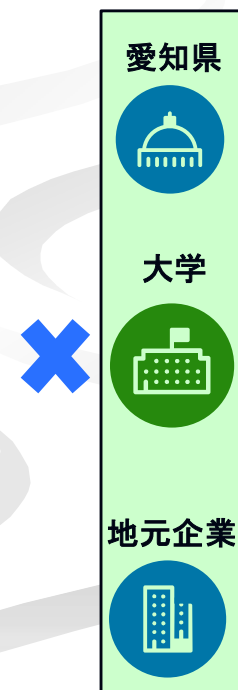
環境分野の課題解決に向けて、全国のスタートアップ等から革新的な技術・アイデアを募集。採択した提案は、県内企業とのマッチングや実証フィールドの提供・紹介などの伴走支援を実施し、愛知発の環境イノベーションを創出・実装

## 事業内容

- 全国のスタートアップ等から、以下の取組テーマなどについて革新的な技術・アイデアを募集（応募件数：96件）
- 採択スタートアップ等（8件）に対し、県内企業とのマッチングや実証フィールドの提供・紹介、取組内容及び成果のPRなどの伴走支援を実施

環境課題	取組テーマ
カーボンニュートラル 	①エネルギーの創出・利用モデル ②温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル ③県民と共に進める持続可能な社会の実現モデル
サーキュラーエコミー 	④域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコミー型ビジネスモデル
ネイチャーポジティブ	⑤自然が持つ価値の見える化モデル

採択スタートアップ等	革新的な技術・アイデア
(株)Eサーモジェンテック	熱を直接電気に変換する熱電発電システム
(株)豊橋バイオマスソリューションズ	次世代型バイオガス発電システム
東洋建設(株)	海面最終処分場におけるCO <sub>2</sub> の回収・固定化
(株)スタジオスポビー	県民の環境行動に伴うCO <sub>2</sub> 削減量の見える化
(株)fff fortississimo	リサイクル困難な炭素繊維強化プラスチックリサイクル
(株)Spacewasp	100%植物廃棄物由来内装材の製造・リメイク
サハシ特殊鋼(株)	使用済み紙おむつのマテリアルリサイクル
DeepForest Technologies(株)	ドローン・AIによる森林モニタリングシステム



環境イノベーションの創出・実装

- ① 全ての県民がいつまでも暮らしていきたいと思える、日本一環境にやさしいあいち
- ② 環境と経済成長が好循環しているあいち
- ③ 多様な主体が連携して環境保全活動に取り組み、地域が活性化している魅力あるあいち

を目指して、環境施策に取り組んでいます